



(第 42 号)

発行所 高松市番三二
高松高等学校内
香川県立高松高等学校玉翠会
発行 榎田 實
責任者 榎田 實
印刷所 石田印刷(有)



ご挨拶

玉翠会会長 榎田 實

新型コロナウイルスが未だに収まらず先行きの見えない時が続きます。皆様如何お過ごしですか。新型コロナウイルスに負けず、お元気の事と思います。

今年も「玉翠会」総会は、書面開催となりました。総会に参加して頂ける皆様の高齢化、会場キャパシティの問題等で苦渋の決断でした。果たして、来年は無事開催出来るのかとの思いです。

この一年間で、新型コロナウイルス感染症拡大で我々を取り巻く社会環境、又、生活様式そして日常の常識迄、大きく変えられてしまいました。ある意味、コロナショックは戦後の日本を襲った数々の危機の中では、我々が直接受けた影響では、最大級かと思います。過去、経済危機では、オイルショック、バブル崩壊、リーマンショック等がありました。それこそ、疫病によるこの様な危機は昭和・平成・令和を通して記憶にあります。現在の医学・科学を持っても、これ程迄長期に渡り問題が解決されない事に、大きな不安を覚えます。

コロナショックが人々の価値観を変化させ、又、人の流れの大きな変化で、国内外共に滞りが起きて、これまで急速に進んできたグローバルゼーションの動きにブレーキがかかりました。一方、人々の直接の接触を避ける為に、急速にデジタル化が進み、テレワーク等リモートでの機会が大幅に増加しました。しかし、人と直接接触して「学ぶ」「遊ぶ」「感じる」の対面教育の機会が大幅に減少して、特に子供達への影響が懸念されます。「ゆとり世代の子供」と同様に「コロナ世代の子供」だからと言われる事は、避けなければならないと思います。

しかし、「ピンチはチャンス」と捉え、「教育のあり方」「働き方改革」等「アフターコロナ」「ニューノーマル時代」に対応すべく準備を推し進めなくてはとの思いです。

最後となりましたが、新型コロナウイルスに打ち勝ち、来年こそは安心安全な各玉翠会の総会が無事開催されます事、「慌てず」「焦らず」「諦めず」で、皆様の益々のご健勝を祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

高松高等学校長 中筋 功雄

小暑を過ぎ、いよいよ本格的な夏本番を迎えようとする頃、玉翠会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校の教育に並々ならぬご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、私こと、今春の人事異動で母校である本校の第二十代校長として着任いたしました。教職員としての勤務は初めてのことでありますし、元来浅学非才の身ではありますが、皆様のご指導、ご鞭撻をいただきながら、本校の発展に尽力してまいる所存ですので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

ところで、一昨年度末より吹き荒れている新型コロナウイルス感染症の嵐は、本稿執筆中の五月末現在でも終息の兆しが見えません。本校の教育活動におきましても、昨年度は二カ月の臨時休業、県総体や総文祭、高校野球などの中止、体育祭や修学旅行の中止など、生徒が澁澂と輝く場面の多くが失われてしまいました。また、文化祭や第九演奏会を非公開とするなど、保護者や外部の方に本校をご覧いただく機会も大きく縮小しました。日常の学校生活におきましても、マスクの着用によって表情が伝わりにくかったり、全校生が一堂に会する機会が途絶えたことで他学年との交流がしづらかったりと、様々な場面で影響がありました。さらに、今年度に入ってから、昼食時の個食・黙食を徹底したことで楽しい語らいの場が制限されたり、授業中に対面での対話的に進める学習活動を制限

したりと、制約の多い学校運営を行っています。

それでも生徒たちは元気に、個々の目標実現に向けた諸活動に真摯に向き合ってくれています。四月には三年生それぞれで遠足に出かけました。五月に予定されていた体育祭は六月に延期したうえで、無観客ながら屋島のレクザムフィールドで開催する予定です。定時制、通信制におきましても、制約はあるものの何とか通常の状態に近づけた学習活動を工夫しながら展開しています。コロナ禍にあつては、人と人との密集が忌避され、物理的な接触が制約されます。しかしこのような時代だからこそ、生徒には他者との絆を大切に育んでほしいと思いますし、豊かなコミュニケーション能力を習得してほしいと思います。

玉翠会員の皆様におかれましては、まさに絆を深め交流を楽しむ場であるはずの玉翠会が、例年通りの形式で開催されないとしても、既に培われた会員相互の連携は、有形無形を問わず不滅であると確信しております。また、今年度の東京玉翠会がオンライン形式での開催に向けて着々と準備を進めておられることは、会員の皆様の底力を感じますとともに、新しい玉翠会の形を想起することすらでき、頼もしい限りです。

終わりになりますが、玉翠会の益々のご盛会並びに会員各位の今後のご健勝をお祈りし、あわせて本校への変わらぬご厚情を賜りますようお願いを申し上げます。ご挨拶といたします。

平田悠登	北原麻由	余島彩華	權日豊美	橋本美保	窪田友哉	福西唯	久保麻依	大熊彩香	松川万須美	池田周一郎	香西辰也	上田慶子	江北愛	江村成子	稲葉沙織	公文陵二	亀井啓三	川崎充大	市原武	横井美里	川澤昭一	住吉光	繁光榮司	定通部会	
山口智代	井上美葵	田井美葵	牧井幸一	白井春美	土居秀人	宮脇雄太	中田隆太	谷口絢香	山下泰啓	白石雄司	窪田英二	坂東一興	林昇	上田慶子	細井慶子	徳田亮	正見昭仁	青木鈴子	竹下紀子	野近美佐	光澤一	榮司	藤澤康良	新原隆	
吉住翔平	橋奈己	松岡奈己	シマフコロ	本まどか	山本あゆみ	水谷未彩	亀田真実	藤澤理絵	植村ひろ	筒井里子	後藤一治	池内大輔	青木和也	吉岡龍二	島田真二	上村真二	木戸志保	香西悦子	乙武祥子	帯子幸子	大川誠	松本悦修	野中日勝	濱岡千尋	
近藤静菜	小倉和揮	小倉和揮	マイケルジェイ	宮本孝利	青山浩太郎	溝川雄二	武範	山田雄二	滝川亮太	裕子昭	泉祐理子	晃典	芳美	榮子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子
近藤静菜	小倉和揮	小倉和揮	マイケルジェイ	宮本孝利	青山浩太郎	溝川雄二	武範	山田雄二	滝川亮太	裕子昭	泉祐理子	晃典	芳美	榮子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子
近藤静菜	小倉和揮	小倉和揮	マイケルジェイ	宮本孝利	青山浩太郎	溝川雄二	武範	山田雄二	滝川亮太	裕子昭	泉祐理子	晃典	芳美	榮子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子
近藤静菜	小倉和揮	小倉和揮	マイケルジェイ	宮本孝利	青山浩太郎	溝川雄二	武範	山田雄二	滝川亮太	裕子昭	泉祐理子	晃典	芳美	榮子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子
近藤静菜	小倉和揮	小倉和揮	マイケルジェイ	宮本孝利	青山浩太郎	溝川雄二	武範	山田雄二	滝川亮太	裕子昭	泉祐理子	晃典	芳美	榮子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子
近藤静菜	小倉和揮	小倉和揮	マイケルジェイ	宮本孝利	青山浩太郎	溝川雄二	武範	山田雄二	滝川亮太	裕子昭	泉祐理子	晃典	芳美	榮子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子
近藤静菜	小倉和揮	小倉和揮	マイケルジェイ	宮本孝利	青山浩太郎	溝川雄二	武範	山田雄二	滝川亮太	裕子昭	泉祐理子	晃典	芳美	榮子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子
近藤静菜	小倉和揮	小倉和揮	マイケルジェイ	宮本孝利	青山浩太郎	溝川雄二	武範	山田雄二	滝川亮太	裕子昭	泉祐理子	晃典	芳美	榮子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子
近藤静菜	小倉和揮	小倉和揮	マイケルジェイ	宮本孝利	青山浩太郎	溝川雄二	武範	山田雄二	滝川亮太	裕子昭	泉祐理子	晃典	芳美	榮子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子
近藤静菜	小倉和揮	小倉和揮	マイケルジェイ	宮本孝利	青山浩太郎	溝川雄二	武範	山田雄二	滝川亮太	裕子昭	泉祐理子	晃典	芳美	榮子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子
近藤静菜	小倉和揮	小倉和揮	マイケルジェイ	宮本孝利	青山浩太郎	溝川雄二	武範	山田雄二	滝川亮太	裕子昭	泉祐理子	晃典	芳美	榮子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子
近藤静菜	小倉和揮	小倉和揮	マイケルジェイ	宮本孝利	青山浩太郎	溝川雄二	武範	山田雄二	滝川亮太	裕子昭	泉祐理子	晃典	芳美	榮子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子
近藤静菜	小倉和揮	小倉和揮	マイケルジェイ	宮本孝利	青山浩太郎	溝川雄二	武範	山田雄二	滝川亮太	裕子昭	泉祐理子	晃典	芳美	榮子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子
近藤静菜	小倉和揮	小倉和揮	マイケルジェイ	宮本孝利	青山浩太郎	溝川雄二	武範	山田雄二	滝川亮太	裕子昭	泉祐理子	晃典	芳美	榮子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子
近藤静菜	小倉和揮	小倉和揮	マイケルジェイ	宮本孝利	青山浩太郎	溝川雄二	武範	山田雄二	滝川亮太	裕子昭	泉祐理子	晃典	芳美	榮子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子
近藤静菜	小倉和揮	小倉和揮	マイケルジェイ	宮本孝利	青山浩太郎	溝川雄二	武範	山田雄二	滝川亮太	裕子昭	泉祐理子	晃典	芳美	榮子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子	豊子
近藤静菜	小倉和揮	小倉和揮	マイケルジェイ	宮本孝利	青山浩太郎	溝川雄二	武範	山田雄二	滝川亮太	裕子昭	泉祐理子	晃典													

令和3年度 玉翠会事業計画

月	日	曜	事 業 名	会 場
4	16・19	金・月	会計監査	5 階会議室等
4	27	火	玉翠会 会長・副会長会	1 階会議室
中 止			東海玉翠会総会	
6	4	金	玉翠会 教育基金運営委員会	校長室
中 止			玉翠会 理事会・代議員会（書面開催）	
中 止			徳島玉翠会総会	
7	8	木	第1回玉翠グローバルアカデミー(GGA) H7卒 真鍋康正氏 ことでんグループ代表	非公開
7	10	土	玉翠会報 第42号発行	
7	10	土	東京玉翠会総会（オンライン開催）	
9	4・5	土・日	文化祭（玉翠庵お休み処：H6 卒主管）	高松高校
未 定			関西玉翠会総会	
10	未定		第2回玉翠グローバルアカデミー(GGA)先輩講演会	
11	21	日	岡山玉翠会総会	アークホテル岡山
2	未定		玉翠会 会長・副会長会	
3	4	金	卒業式	体育館

高松懇親会準備委員会

※現在開催予定の行事につきましても、新型コロナウイルスの
関係で中止・延期となる場合があります。

令和2年度 玉翠会事業報告

月	日	曜	事 業 名	会 場
4	3	金	会計監査	
中 止			玉翠会 会長・副会長会	
中 止			東海玉翠会総会	
6	1	月	玉翠会 教育基金運営委員会	校長室
中 止			玉翠会 理事会・代議員会（書面開催）	
中 止			徳島玉翠会総会	
中 止			第1回玉翠グローバルアカデミー(GGA)	
7	11	土	玉翠会報 第41号発行	
中 止			東京玉翠会総会	
9	5	土	文化祭（非公開） ※玉翠庵お休み処（H6 卒主管）は中止	高松高校
10	10	土	関西玉翠会総会 ※総会のみオンラインで開催	
11	4	水	第2回玉翠グローバルアカデミー(GGA)先輩講演会 S40卒 千葉昭氏 四国電力㈱相談役 四国経済連合会相談役	体育館
中 止			岡山玉翠会総会	
2	2	火	玉翠会 会長・副会長会	1 階会議室
3	5	金	卒業式	体育館

令和3年度 玉翠会会計収支予算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
玉 翠 会 会 費	8,000,000
玉 翠 会 入 会 金	943,200
受 取 利 息	0
雑 収 入	0
収 入 の 部 合 計	8,943,200

〈支出の部〉

費 目	金 額
本 部 運 営 費	4,530,000
支 部 運 営 費	1,300,000
卒 業 生 記 念 品 料	130,000
退職積立預金繰入支出	200,000
創立百周年記念玉翠会教育基金会計繰入支出	2,000,000
予 備 費	300,000
支 出 の 部 合 計	8,460,000
当年度収支差額	483,200
前年度収支差額	29,345,898
次年度収支差額	29,829,098

令和2年度 玉翠会会計収支決算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
玉 翠 会 会 費	8,213,983
玉 翠 会 入 会 金	967,000
受 取 利 息	1,055
雑 収 入	3,500
収 入 の 部 合 計	9,185,538

〈支出の部〉

費 目	金 額
本 部 運 営 費	3,520,503
支 部 運 営 費	0
卒 業 生 記 念 品 料	118,360
備 品 充 実 費	118,800
退職積立預金繰入支出	100,054
創立百周年記念玉翠会教育基金会計繰入支出	2,000,000
寄 付 金	91,188
予 備 費	0
支 出 の 部 合 計	5,948,905
当年度収支差額	3,236,633
前年度収支差額	26,109,265
次年度収支差額	29,345,898

令和3年度 創立百周年記念玉翠会教育基金収支予算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
玉翠会会計より繰入収入	2,000,000
受 取 利 息	0
雑 収 入	0
収 入 の 部 合 計	2,000,000

〈支出の部〉

費 目	金 額
奨 学 金	2,040,000
教 育 活 動 費	200,000
雑 費	550
予 備 費	50,000
支 出 の 部 合 計	2,290,550
当年度収支差額	△ 290,550
前年度収支差額	21,299,639
次年度収支差額	21,009,089

令和2年度 創立百周年記念玉翠会教育基金収支決算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
玉翠会会計より繰入収入	2,000,000
受 取 利 息	949
雑 収 入	0
収 入 の 部 合 計	2,000,949

〈支出の部〉

費 目	金 額
奨 学 金	2,040,000
教 育 活 動 費	0
雑 費	550
予 備 費	0
支 出 の 部 合 計	2,040,550
当年度収支差額	△ 39,601
前年度収支差額	21,339,240
次年度収支差額	21,299,639

令和3年度 甲子園出場記念教育基金収支予算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
受 取 利 息	500
収 入 の 部 合 計	500

〈支出の部〉

費 目	金 額
教 育 活 動 費	660,000
雑 費	550
支 出 の 部 合 計	660,550
当年度収支差額	△ 660,050
前年度収支差額	6,841,267
次年度収支差額	6,181,217

令和2年度 甲子園出場記念教育基金収支決算書

〈収入の部〉

科 目	金 額
受 取 利 息	561
収 入 の 部 合 計	561

〈支出の部〉

費 目	金 額
教 育 活 動 費	0
雑 費	550
支 出 の 部 合 計	550
当年度収支差額	11
前年度収支差額	6,841,256
次年度収支差額	6,841,267

令和3年度 理事会・代議員会

昨年度に引き続き

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止に

一年後は玉翠会理事会・代議員会が開かれるくらいに新型コロナウイルスが収束していることだろうという昨年の今頃抱いていた期待もむなしく、今年に入ると変異株が猛威を振るうようになり、各都道府県で最多の感染者数を更新する状況が続いている。香川県では五月九日から三十一日まで、県独自の「緊急事態対策期」に移行した。

学校では昨年度のような臨時休業措置はないものの、授業ではグループで向かい合っ

て話し合いをすることはできず、昼食は各自の机で前を向いて黙食。部活動では県外遠征はもちろんのこと、県内の高校であっても練習試合ができない事態となっている。

四月に入り、新入生を迎え、遠足は実施されたが、体育祭、修学旅行が延期となり、第一回PTA役員会やPTA総会が中止となった。

玉翠会においても幅広い年代の方々が多く集まることになる理事会・代議員会を昨年度同様中止とし、書面による議決を行うことになった。

このような中で、昨年度の関西玉翠会総会がオンラインで開催され、今年度の東京玉翠会総会もオンライン開催となる。これまでにない試みで、準備の段階からオンラインでの話し合いを重ねてこられた幹事の皆様のご苦労は計り知れないが、多くの玉翠会員へのご配慮をいただき、玉翠会でしかできない支部総会となっている。

学校行事でも生徒によるさまざまな工夫が見られる。今年度の校友会フェスティバルは、体育館ではなく一年生の各クラスで行われた。各部が工夫を凝らした動画を制作し、生徒会で編集され、DVDを視聴するという形で、これまでにない初の試みとなった。



総体壮行会のビデオ撮影の様子
今年度の壮行会は各クラスでDVDを視聴した

感染症拡大防止のためにさまざまな工夫をして社会生活を送らなければならない状況が長引く中、玉翠会では、玉翠会会則の改正が提案された。追加される会則の案は次の通りである。

第5章 会議

第20条

正副会長会議は、感染症の拡大その他の事由により理事会および代議員会を開催することが困難な場合、理事及び代議員への書面手続き等によりその議案を決議する旨決定することができる。その決定により決議された議案は、直後に開催される理事会および代議員会において承認を受けなければならない。

これが承認されることにより、様々な事態で理事会・代議員会が開かれなかった場合に対応ができるようになる。しかし、会が開かれないという事態が起こらないことを願いたい。

また、昨年度高松高校では、文化祭を開催したものの、一日だけの非公開となったため、文化祭での玉翠会事業もご遠慮いただいた。それに伴い、年次理事指名に関しては、高松高校での玉翠会事業が再開されるまで保留となった。一方で、平成元年卒の鳥養智子氏が、広報事業担当理事に指名された。この玉翠会報を事務局と連携して充実したものとした。

最後に、昨年度ご逝去なさった一〇四名の方々のご冥福をお祈りするとともに新型コロナウイルスが一日でも早く収束に向かい、会員の皆様が安心して集える日の来ることをこいねがう。

投稿募集のお知らせ

玉翠会報では次のようなコーナーを設けたいと考えております。

- 1 「文集」・・・各学年で文集を出されましたら、一冊事務局あてへお送りくださると紹介させていただきます。
- 2 「卒業写真」・・・卒業写真とともに懐かしい高校時代を振り返り、その思い出、エピソードなどを綴っていただくコーナーです。
- 3 「文芸欄」・・・会員の皆様方からお寄せいただいた作品を紹介させていただきます。随筆、詩、短歌、俳句など、ジャンルは問いません。

また、「あの先生は今：」「ただいま活躍中！」のコーナーに掲載する方のリクエストもお待ちしております。その他お気づきの点などございましたらお聞かせいただけたらと思います。

香川県立高松高等学校

玉翠会事務局

〒760-0017 高松市番町3丁目1番1号

電話 (087)831-7251(代)

FAX (087)831-0010

mail:info@gyokusui.org

玉翠会本部

検索

令和3年度玉翠会報

ダウンロードパスワード・8063

ホームページ

公式：香川県立高松高等学校同窓会玉翠会本部

<https://gyokusui.org/>



一通の手紙から

前高松高等学校長 出^{いで}射^い隆 文

昨年末に自分の書斎を作ろうと、片付けをしていると一通の手紙を発見しました。消印は三十六年以上前の一九八四年九月二十日、送り主は、当時の国鉄鉄道技術研究所（現JR総合技術研究所）からのものでした。

大学院の修士課程二回生のときに、この研究所の面接を受け、就職する予定でしたが、手紙には、「ご期待に沿えない」と、内定取り消しの内容でした。指導教官から勧められた就職先だったので、受け取ったときにはとてもショックでした。

その後、受験していた教員採用試験の結果が年末に発表になり、高校の数学の教員に合格し、昭和六十年四月に高松高校に採用されました。

最初に担任したのは、昭和六十二年卒の二年生。バスケットボール部顧問としては、六十一卒の三年生から担当しました。その後三年間高松で勤務したので、平成二年卒までの皆さんと一緒に過ごしました。

その後、香川中央高校、三木高校で教諭として、また、香川県教育委員会や高松養護学校での勤務の後、平成三十年度から三年間、高松高校で勤務し、今年の三月末で定年退職となりました。

高松高校校長としての三年間は、いろいろな形で玉翠会員の皆様には大変お世話になりました。

特に、植田会長様をはじめ役員の皆様、東

京玉翠会の渡辺会長様、関西玉翠会の樋口会長様、岡山玉翠会の多田会長様、徳島玉翠会の長尾会長様、東海玉翠会の入倉会長様をはじめ各支部の皆様にも感謝申し上げます。

昨年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、玉翠会関係の行事がほとんど中止となり、勤務最後の年に、皆様方に直接お会いしてこれまでの感謝の気持ちを伝えできず、大変残念でしたが、十月にオンラインで実施された関西玉翠会で気持ちを伝えできたことはとても救いでした。また、どこかで再会できること心から願っております。

振り返ってみると、この手紙のおかげで、香川県に帰って教員として三十六年間働き、そのうちの六年間を高松高校で勤務することができました。そう考えると、この手紙は、今となっては、私にとってこの上のない宝物となりました。

ところで、私自身この四月に、香川大学大学院工学研究科に入学しました。大学院時代の地震の研究や教員などの経験を生かして、災害に強いまちづくりをテーマに研究を進めることで、地域に貢献したいと思っています。

最後になりましたが、玉翠会各位におかれましては、今後も引き続き、後輩たちと母校に対し、ご指導とご鞭撻をお願い申し上げますとともに、会員の皆様方の更なるご健勝とご活躍を祈念し、ご挨拶といたします。

南米パラグアイの日本語学校にて

前玉翠会担当 植松 紀子

(前本校家庭科教員 54卒)



ラ・コルメナはフルーツの街。
完熟マンゴーが
そこいらに落ちています。

「先生！いつもの豆腐五丁と、今日はわたしのおみそも、どうぞ。」

当方がお部屋をお借りしていたラ・コルメナの富士見ホテルの三井の大奥様が毎週月曜日にめんと豆腐を作ってください。五丁なんてすぐぐペロリッの大豆の甘み、柔らかいのにしっかりしている、まさにめんと豆腐大好きな私が「そのまま無限にいただける」世界一の絶品。また、他の奥様方からも、菜園で作るオクラ、なすを初め、栗ごはんもおでんも、ついたお餅もいただいた。本当に現地の皆さんに大事にしていたのだ。

当方、定年までのラストの二年間、高松高校に籍を置かせていただいたまま、JICA（国際協力機構）シニアボランティアとして、四ヶ月のスペイン語などの訓練を経て八月に飛行機四つを乗り継ぎ、パラグアイで日本人が初めて入植、ジャングルを開墾したラ・コルメナという人口五千人ほどの街に。南回歸線下、八月でも半袖で過ごせるからとした空気に、果てしなく広がる青い空、赤土の大地、そして人口より多い白い牛が地平線まで広がる牧草地にのんびり草を食んでいる。



日パ コラボの手打ちうどん大成功！

ラ・コルメナ日本語学校は、移住八十四年を迎えて日本人三世四世の子ども達（午前だけの現地の学校ではスペイン語）が日本語を忘れないように移住と同時に建てられた。街の中央に市役所と警察に並んである。幼小中合わせて五十人ほど。毎日午後三時間の日本語の授業と、ひな祭りや敬老会などの行事、料理教室は、私が担当、小麦粉に現地の主食、マンディオカ（キャッサバ）のどんぶ（片栗粉に酷似）を二割加え、日パコラボの手打ちうどん。のどしの良い、長いうどん、みんな大喜び！

当初の予定は、一年八ヶ月の派遣だったが、コロナの世界的流行を受けJICAの判断で世界中の隊員二、〇〇〇人と共に、一年を残し一斉帰国。高松に戻らせてもらった。許されれば今すぐにでも戻り、マンゴーの木の下でマテ茶を手にはサッカーボールを蹴る子ども達を見たい。

支部会だより

東京玉翠会

東京玉翠会は昨年七月十一日に第三八回総会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け中止とさせて頂く事となりました。例年ご参加頂いております高松高校関係者の皆様、支部を含めた玉翠会関係者の皆様には、ご不便をおかけ致しました。

また皆様ご存じの通り、東京都内では昨年三月以降、新規感染者数が高止まりしており、東京玉翠会でも、集会等のイベントが殆ど開催できない状況が続いております。毎年恒例となっている麻雀の菊池寛杯や餡餅雑煮会といった人気のイベントも開催中止・見送りとなり、同窓会活動を含めた交流の場が少なくなっております。

ただそんな中でも、俳句を詠みあう「にくの会」ではインターネット句会を融合したハイブリッド開催を開催したりなど、この状況ならではの新たな取り組みも生まれております。

第三九回目となる今年の総会に向けては、コロナ禍の収束見通しが立たないなか、昨年末より、幹事学年である私達平成八年卒のメンバーは、事務局の先輩方と、夜な夜なオンラインで集合し、開催方式について様々な議論を行いました。会場開催もなんとか出来ないかと検討しましたが、やはり、参加者の安心・安全を第一優先として、オンライン開催とさせて頂くことになりました。まだオンラインには不慣れな卒業生様もいらっしゃいますが、この機会に新たな取り組みにチャレンジするといった意義も込

めて、題して「東京玉翠会DX」これがニューノーマル玉翠会」をテーマに準備を進めております。「スペーシャル・チャット」というオンラインサービスを利用して、各学年の同窓生同士での懇談を自由に楽しみつ、各種催し物を観覧頂ける形式となります。また、オンラインのため、住んでいる場所を問わず全国各地や海外からも参加を募っております。コロナ禍の最中で、なかなか同窓生で集まる機会も少ない昨今かと思っておりますので、この機会に同窓生や卒業生同士の繋がりを深める機会として頂ければ幸いと願っております。

まだまだ不安な日々が続きますが、皆様の健康とご多幸をお祈り申し上げます。今後とも東京玉翠会を宜しくお願い致します。

第三九回幹事団代表

尾崎 慎一、大西 祐介、松原 規人

(平成八年卒)

東海玉翠会



会長 入倉 憲二

(昭和四十四年卒)

東海玉翠会は、昨年はまだまだウィルスのことがよく分からない状況の中で急遽、中止しました。本年に至り、感染対策のコツが理解され、ワクチン接種も始まり、やっと出口が見えてきそうです。開催が中止か悩みましたが、役員で協議した結果、まだ油断できないし、大人数での会食の自粛要請が継続中であることから、何よりも会員の健康を第一に考え、中止を決定いたしました(今にして思

うと、緊急事態宣言が発出されての急遽中止

徳島玉翠会

副会長兼事務局長 坂口 英則

(昭和四十八年卒)

今回は長尾会長からのご指名を受け、私が投稿することとなりました。というのも、昨年に引き続き今年も新型コロナウイルスの蔓延により徳島玉翠会の開催を中止せざるを得なくなったので、その苦労話を書きなさいということになった訳です。

昨年四月六日、緊急事態宣言発出一日前に役員に諮り第二十七回総会の中止を決定しました。開催まで二ヶ月半という時点で、これは収まらないだろうという判断でした。

緊急事態宣言発令中の四月下旬、会員の方から県内のご苦労をされている医療関係者に本会から寄付をしてはどうかという提案がなされ、

という事態を避けられて良かったと思います。昨年の関西玉翠会に倣い、オンライン総会はどうかという話も出ましたが、ハードルが高いと感じる会員も少なからずいると思われ、一昨年・昨年の会計報告を中心とした書面による決議としました。

毎年五月に普通にあった「格別な楽しい時間」がないと、心の中にボカッと穴があいた心持ちになります。来年こそは！と切に願います。また元気な姿で会員が集える総会ができることを楽しみにしております。

また、来年こそは各支部の総会に顔を出せるようになることを願ってやみません。

最後になりましたが、全国の玉翠会会員の皆様のますますのご健康とご活躍を心から祈念申し上げます。

会員の医療関係者にご意見を伺うと、今後の状況が見通せないこと、漠然とした寄付になりかねないこと、国や県から億単位の支援がないと医療危機は回避できないこと等の意見が寄せられました。

併せて、医療関係者への寄付よりは新型コロナウイルス蔓延で休校となって大きな影響を被っている高松高校に何らかの役立つものに使ったかどうかという意見をいただきました。

会員の賛同は得たものの、さて何が良いものやら分からなかったもので、玉翠会を通じて高校の方に訊いてもらいました。その結果、学校では春の休校の遅れを取り戻すべく、猛暑の中、勉強に励んでいる生徒さんにはクーラーが必要ということ、移動式のスポットクーラー二台を希望されたという返事をいただきました。公立高校ということもあり、教育委員会の認可を仰いで許可が出れば導入ということになりました。

この寄付の件は玉翠会の方で各玉翠会支部にもお話をしていたようで、結果的には玉翠会、各玉翠会支部が経費を分担するという形となり、本会からは経費の約三分の一の十数万円の寄付となりました。

こうして昨年六月二十三日にクーラー二台が納品されました。これにより生徒さんの勉強がはかどったことと拝察いたします。

今年に入り新型コロナウイルスの蔓延は収まるどころか、全国的に昨年を大きく上回る広がりを見せ、香川、徳島でも新規感染者の数は大きく増えました。残念ではありますが、こうした状況の中徳島玉翠会総会も二年続きの中止を余儀なくされました。

今後ワクチン接種が順調に行われれば、事態が好転するものと期待をしております。そして来年は是非とも総会を開催し、会員の皆様とお会い出来ることを楽しみにしております。

関西玉翠会



関西玉翠会は総会幹事が昭和卒から平成卒に変わる潮目の年でした。そのため「与古為新（古きにあずかり新しきを為す）―古き良き文化と新しい技術の融合―」をテーマに掲げてスタートした二〇二〇年でした。が、関西玉翠会も本部・他支部同様、コロナ禍に翻弄されました。

残念ながらリアルでの総会および懇親会は中止でしたが、関西玉翠会では「オンライン総会・会報での誌上イベント開催」を行いました。図らずも当初掲げたテーマ「与古為新（古きにあずかり新しきを為す）」がより鮮明となった一年となりました。

まずオンライン総会開催に向けて会員のみなさまとのオンライン環境の整備に努め、幹事会のオンライン開催実施と接続テスト、セキュリティ対策およびスマホ対応のための関西玉翠会サイトリニューアルなどを行いました。最初はオンラインに不慣れだった幹事会のみなさまや会員のみなさまのご協力・ご支援のもと、無事、令和二年十月十日にオンラインでの関西玉翠会総会を行うことができました。



総会は、亡くなられた会員の方々への黙祷から始まり、関西玉翠会・樋口会長のご挨拶、議事の承認、来賓のみなさまのご紹介とご挨拶、二〇二一年度幹事（平二卒）から現状報告、校歌斉唱をもって閉会となりました。

来賓としてご参加いただいた高松高校・出射校長、玉翠会本部・楨田会長、東京玉翠会・土田様、東海玉翠会・菅野様、徳島玉翠会・長尾様を含め、総勢延べ五三名が参加されました。例年の総会に比べると少ない参加人数ではありましたが、当日オンラインで行ったアンケート投票によると「大変よかった」「今後も活用したい」「楽しかった」とご回答いただいた方が多かったことに幹事一同ホッとしております。

そして例年の関西玉翠会総会の目玉といえば校歌斉唱。実はこれが難題でした。オンラインでは参加している人が同時に音を出すと

聞き取りづらくなります。オンラインでの合唱はなかなかハードルが高い。そこで校歌斉唱はあきらめ、前年度幹事団（昭六三卒）にご協力をいただき前年度総会の校歌斉唱の録画を動画配信しました。

リアルで開催できなかった懇親会で行う予定だったイベントについては、登壇予定だったみなさまのご協力のもと、会報にて誌上イベントを開催いたしました。伝統文化である能やオペラを新しい技術であるドローンで撮影する、というテーマに沿った試みを考えておりましたが、誌上イベントにおいて寄稿いただいたことで、その文化や技術、何よりも

岡山玉翠会



会長 多田 譲治
(昭和四十四年卒)

昨年のこの玉翠会報に「新型コロナウイルス感染症の猛威、想像もしなかった事態が全世界で進行しています」と書きました。そして一年後の今日、その流行の波に収束の気配はみられません。この原稿を書いている時点では、日本を含め世界的にもその収束の兆しすら見えず、岡山も第四波の真っただ中です。大都市圏は三回目の緊急事態宣言中で、東海と徳島の支部総会は今年も中止、東京はオンライン開催と聞いております。一日でも早く日常生活に戻ることを祈らずにはいられません。

さて、昨年の第四十二回岡山玉翠会総会・懇親会は、令和二年十一月十五日(日)に例年とは会場を変えて「ピュアリティまきび」にて

登壇される予定だったみなさまのことをより深く知ることができ、会員のみなさまからも好評の声をいただきました。

最後に、広告・協賛金にご協力をいただきました皆様、関西玉翠会の新しい試みにご支援いただきました高松高校ならびに玉翠会本部・支部の皆様、動画配信に快く承諾してくださった前年度幹事団、応援団、吹奏楽部の皆様、会報にご寄稿いただきました皆様へ、幹事一同、感謝と御礼を申し上げます。今後とも引き続き変わらぬご協力・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

二〇二〇年度総会幹事（平成元年卒）一同開催予定でした。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の増加に歯止めがかけられない当時の状況において、また、各地の玉翠会支部総会が次々と中止となっているなか、県外からの出席者も多いことを考慮して、岡山も中止せざるを得ないという結論に達しました。

今年の総会・懇親会は、十一月二十一日(日)に例年通りアークホテル岡山での開催を予定しております。ただ、コロナ禍第四波の中にいる現状としては、今年の総会も予定通りに開催できるかどうか不透明感がぬぐえません。今はただ、コロナ禍が速やかに収束し、例年通りに開催できることを祈るばかりです。今後の予定は「岡山玉翠会ホームページ」にてご確認いただけますようお願い致します。とは言え、現時点では前述の通りの開催予定ですので、広く中四国地方全域の方々にも出席していただければ幸いです。岡山県内や近辺に異動される方はもちろんのこと、中四国地方にお住まいの方々には是非ともご連絡をいただきますよう、そしてより多くの方々にご出席いただきますようお願い申し上げます。

「あの先生は今・・・」

会員の皆様方から「昔、タカコーでお世話になった先生方の近況が知りたい。お元気でしょうか？」とのご要望を頂きました。そんなら……と早速、御教職を退官なさった『あの先生の今』を二ご紹介しようと思います。

第一弾として、「ご指名の多かった『生物の木村斉先生（高昭昭和三十九年～五十八年（在職））に」ご登場をお願いいたしました。

コロナが収束するのは いつコロナ？

〒七六一〇二三〇 香川県高松市庵治町一六五六―三

木村 斉 ヒトシ キンマンテイデベツ (金万亭出臈)

昭和三十五年卒



ハク製の多い室の一角に陣取った小柄な人それが木村先生だ。落語を趣味に持つというだけあっておもしろく応対してくれた。「本校の印象は本校出身であつたせいかピンとこなかった。しかし本校生徒時代の習慣からか、やはり職員室には、はいりづらい」とここでニヤリ。「今後は大いに生物の実験をやりたい」と語ってくれた。話のわかるお兄さん先生といったところである。(生物科)

昭和39年 6 月 29 日 発行の
高松新聞「新任紹介」欄より

のっけから現時世を思つての標題に致しました。御存じの方も多いでしょうが、私はかつて昭和三十九年の初任以来十九年間、母校の生物教師・サッカー部顧問をしておりまして。ここ



妻の恵子（金万亭お稽古）さんとお孫さん達の高座

ろが実は私の得意は落語でありまして、ギャグの大好きな男なのです。学校では一度も落語を語ったことはありませんでしたが、生徒達をラクゴ者にはしたくなかったからです。二十年前に退職してからは、各地から求められて高座を行い、千回を突破しました。

金万亭として一門を開くと、入門者が殺到して、妻や孫達を含めて老若男女二十人もの大い門となりました。各地で寄席を開き大勢の皆様が大いにゲラゲラ笑って頂きました。私は古典落語のみならず「人権擁護」「サギ防止」などの創作落語も披露し、関係者達から喜ばれ、しっかり感謝されました。



「傘寿」と「こいのぼり」の精緻な切り紙細工

さて私は写真で持っている紙作品の通り、数えて八十才（傘寿）となりました。キムラといえばサッカーと思う人々が多いですが、その通りで六十才まで現役でプレーし、全国大会にまで出場しました。今でもペレと部員とでサッカーしている夢をよく見ます。バドミントンも大好きで七十五才まで、社会人チームでプレーしていました。そのうち後期（光輝）高齢者となり、激しい運動はせず、ウォーキングや我庭に千本のチューリップを咲かせるなどガーデニングで動いています。社会的には保護司として二十年間勤め上げ、法相から感謝状を受けました。

ええ「前立腺ガン」で、これも教え子の医師のはからいで早期発見し、放射線治療で根治し元氣になり、嬉しくもありがたいことです。著作に関しては拙著「足物語」が多く読まれました。NHKラジオ深夜便「このころの時代」にも出演し、全国から多くの反響を頂きました。後編ともいふべき「老足物語」を加えて「文芸社」より文庫本「サッカーと足」を出版しました。表紙はちばてつや氏、序文は森繁久彌氏が書いて下さっています。この本も全国に広まって欲しいものと願っています。

写真の紙細工は「紙技」というもので、一枚の紙を切つて折り上げ森羅万象を作り上げます。私は「一級紙技士」として、「家紋」や「罨」の立体化にも挑戦しており、指導教室や個展で喜ばれています。

本来の生物学に戻りますが、バイオープ研究の為二回渡欧し、帰国後は自然観察などで大勢の人々との交流を楽しんでいます。自然保護チームのミュージカル「アクア」では龍神様の役を頂き、満員の県民ホールで自然保護を語りました。これらのことが自由にできるよう一日も早いコロナの収束を祈っています。



定時制だより

ご挨拶

教頭 近藤雅和

令和三年度は、新入生四名を迎えて、生徒二十二名(男子十一名、女子十一名)、職員七名でスタートしました。

生徒は、卒業後の進路を見出そうと、夕方からの授業に真剣に取り組んでいます。私達職員は生徒の個性や希望を尊重しながら、内容を精選し、基礎・基本を大切にしたい「わかる授業」を第一に、と考えています。また、学校行事にも工夫や改善を加えて、生徒会を中心に、学校生活の活性化を図っています。始業前や放課後、教室では、生徒たちのにぎやかな話し声が絶えません。今後とも生徒と教師のふれあいの場を大切に、生徒一人ひとりの将来を見据えた教育を行います。

〇入学式 ―男子二名、女子三名―

四月七日(水)、四名の新入生が定時制課程に入学しました。

新入生代表が「強い意欲を持って、校則を守り学習に努め、立派な定時制の生徒となります。」と、澆刺とした声で宣誓を行いました。高校生活への期待と意欲が窺えました。



〇新入生研修 ―親交を深めた活動―

四月二十三日(金)、屋島少年自然の家での研修をとりやめ、峰山公園へ行きました。野外炊飯などの活動はできませんでしたが、晴天に恵まれ、山の上で昼食をとり、展望台では

島々の浮かぶ瀬戸内海の景色を満喫しつつ、親睦を深めました。バレーボールをするなど、とても楽しい様子でした。短い時間でしたが、笑顔一杯の活動となり親交を深める研修となりました。



〇県定通総体 ―全国大会出場―

(令和元年度の記録)

六月二十三日(日)、香川県定通総体が開催され、バドミントン競技(男女)、卓球競技(男女)に出場しました。出場しない生徒たちも応援のうちわを持って、各会場に駆けつけました。



卓球では、男子団体が決勝にすすみ、準優勝でした。試合後に大きな拍手で両チームの健闘をたたえました。来年度に続くようなよい試合でした。また、一年次生の藤田さんが女子個人戦でベスト4に入り、県の代表として、全国大会への切符を手に入れました。全国大会では三回戦で敗退となりましたが、ベスト32という成績を残しました。授業が終わって疲れている放課後、毎晩練習してきたその努力の成果を十分に発揮できました。

以下、令和二年度の記録 〇第七十回文化祭

―定時制2020―

九月五日(土)に一日のみ、非公開での開催となりました。定時制のメイン展示は、色の異なるペットボトルのロケットをつく



うものでした。みんなでペットボトルを持ち寄り、先端と羽根部分のパーツを取り付け、一つ一つ並べていくという地道な作業を積み重ね、無事展示することができました。一、二年次生が、装飾と作品展示を、三、四年次生が、モザイク作成、つり下げ装飾を担当しました。新型コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれましたが、感染防止対策を行いながら、全員が力を合わせ、一つのものを作り上げるという貴重な経験ができ、充実した文化祭となりました。教室展示部門で「衛生賞」を頂きました。

〇観月句会 ―月見と俳句―

十月二日(金)、ここ三年

間天候に恵まれずに十分見ることができなかった月を、この日はきれいに

見ることができました。四年次生は観月句会でやっ



と月を見ることができ、十六夜の満月に感動していました。屋上から月を

観察し、その満月を見て俳句を詠みました。例年ならば、保護者の方にも参加していた

ですが、今年度は中止となりました。和菓子と

お茶をいただきながら、俳句の優秀作品が披露され、選ばれた人からは歓声が上がりまし

た。日本の文化を味わいつつ、学年を越えて

交流も深めることができました。

- ・満月や 涙が止まらん 感動で
- ・四年まち ついに見れたよ 満月を
- ・羽織きて 月が見えたよ 学校で
- ・初月 火木土が そろいぶみ

〇生活体験発表大会 ―自身の成長―

十月十七日(土)サンポートホールで県大会が行われ、本校代表として四年次生の近藤さんが、「コンプレックス」と題して発表しました。発表順一番手にもかかわらず、堂々と落ち着いた態度で、自らの経験と成長を振り返った

発表は、見事「優秀賞」を受賞しました。コンプレックスを克服しようと頑張ってきた自らの内面を、言葉に表しながら発表する姿に、聞いていた後輩達も勇気をもらえたのではないかと思います。

〇校外研修

―四国水族館と宇多津散策―

十一月六日(金)、午前中はオープンしたばかりの四国水族館へ行き、午後は、昼食を兼ねて宇多津の街を散策しました。生徒全員が楽しむことができました。



〇予餞会 ―四年次生をねぎらいました―

二月十日(水)、卒業生を送る会をしました。生徒会が中心となって企画・運営・準備をしました。各学年が催し物を計画し、ゲーム大会を行うなど、予餞会を盛り上げました。楽しい時間で四年次生を送り出すことができました。



〇卒業式 ―晴れやかな笑顔で―

三月五日(金)快晴、四年次生八名全員が晴れて卒業しました。卒業式の後、正門に移動して記念写真を撮りました。その後、担任の金丸先生やお祝いにかけつけた先生方から祝辞をいただき、念願の卒業証書を手に入れました。高校時代の思い出を宝にして活躍することを祈っています。



通信制だより

ご挨拶

教頭 松岡 宏一

通信制課程では、本年度、新入生二十九名を迎えて一六四名でスタートしました。

通信教育は、自学自習を基本とし、学校から毎月送付されるレポート課題を作成、提出して添削指導を受けることが学習の中心となりますが、面接指導（スクーリング）のある日曜日には登校して、レポートを作成する際に解らなかつたことを授業で学んでいます。授業以外にも、新入生歓迎行事や文化祭、体育祭、生活体験発表会、遠足等の行事もあり、楽しい雰囲気の中で学習しています。以下、通信制課程の主な行事を通して、在校生の様子を紹介します。

〇入学式

四月十一日(日)、令和三年入学式が行われ、一年次生二十一名、二・三年次編入生七名、特修生一名、合わせて二十九名の新入生を迎えました。

厳かな雰囲気の中、校長式辞に続き、新入生代表より宣誓文が読み上げられ、入学生一同、新たな学校生活に期待を膨らませました。通信制課程での学びを通して生徒の皆さんの夢や希望が実現できるよう心から応援しています。



〇ついで

五月二十三日(日)に行われた「ついで」は、通信制に新しく入ってきた仲間を歓迎する最初の学校行事です。今年度は、新・編入生を中心に五十七名が参加しました。



生徒会役員から新入生に対し学校生活を送る上でのアドバイスがあり、通信制ならではのルールに新入生は興味深そうに聞き入っていました。続いて行われたソフトバレーでは、和気あいあいとした雰囲気の中、班のメンバーで協力し合う様子が見られました。

以下は令和二年度の記録

〇薬物乱用防止教室・感染症予防教室

六月十四日(日)、全校生徒を対象に体育館で薬物乱用防止教室を実施しました。薬物の乱用は、友だちや先輩からの誘いを断ることができず、始まることが多いようです。勇気をもって自分の意志をはっきり伝えることの重要性を理解しました。

また、新型コロナウイルス感染症予防教室では、感染予防のため、消毒やマスクをすることはもちろん、他者への思いやりの大切さを学びました。

〇県定通総体

六月二十八日(日)、香川県高等学校校定時制通信制総合体育大会が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になりました。



〇校内生活体験発表会

八月三十日(日)、玉翠ホールで校内生徒生活体験発表会が開催されました。各年次から選出された八名の代表者が学校生活や自分の人生と目標などについて発表しました。どの発表もすばらしい内容で、聴いているみなさんが感銘を受ける発表会でした。



した。審査の結果、一位に二年次の安並天音さん「私と通信制」が、二位に三年次の野口千乃さん「将来への一歩」が、それぞれ選ばれました。

〇文化祭

九月五日(土)、一日のみ・非公開という異例の形になりましたが、今年度も全定通合同文化祭が開催されました。

全体テーマ「accele rate」のもと、通信制では「通信制について」というテーマで、他の課程の生徒や先生方が通信制について理解を深めることができるように教室展示を行いました。また、芸術選択者・有志作品を展示し、例年と変わらぬ充実した展示となりました。



〇体育祭・ヨガ体験

十月十一日(日)、体育館二階アリーナで体育祭が開催されました。各年次対抗で行われたスプリンリレーやパン食い競争、ソフトバレーボール・ドッジボールなど、様々な種目に挑戦しました。慣れない競技に悪戦苦闘(?)しながらも大いに盛り上がりました。



また、午後には日本脳ポジ協会の林たかこ先生をお招きして「人生を最幸に輝かせるきらめきヨガ」を体験しました。呼吸のコントロールや軽い運動が身体の健康だけでなく心の健康につながることを学ぶとともに、自分の内面を見つめる貴重な機会となりました。

〇遠足

十一月十五日(日)、NEWレオマワールドに遠足に行きました。当日は汗ばむほどの好天

に恵まれ、参加した生徒のみなさんは遊園地での一日を思いっきり満喫しました。アトラクションに興じる人、広大な園内を散策する人、楽しみ方は人それぞれでしたが、普段の学校生活をしばし忘れて充実した時間を過ごしました。



〇生徒総会・交通安全教室

十二月六日(日)に生徒総会が行われ、新生徒会役員が承認されました。任期は令和三年一月一日から十二月三十一日までです。新役員の皆さん、一年間よろしく願います。



また、生徒総会終了後に引き続き、高松北署の樫村 桂警部補を講師にお招きして交通安全教室が開催されました。さまざまな事例を通して自分がいくら注意していても思わぬ事故に遭遇することがあることを再認識しました。

〇卒業式

三月五日(金)、体育館において、全・定・通合同の卒業証書授与式が挙行されました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今年もご来賓、在校生の参加を制限する中で行われましたが、通信制課程では二十二名の卒業が認められ、吉住翔平さんが代表して卒業証書を受け取りました。仕事や家庭との両立に苦労したり、さまざまな悩みを抱えたりしながら、無事この日を迎えることができた卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今後のご健康とご活躍を心よりお祈りしています。



文化祭

九月五日(土)、全定通合同文化祭が開催された。テーマは「accelerate」(加速する、の意)。

今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、非公開かつ一日間のみの開催となった。文化祭の様子については後日ホームページで公開する形で情報発信を行った。バザーや食堂なども中止されたが、三、四階渡り廊下の展示やプラザ装飾などは例年通り実施することとなった。

六月初めまでの臨時休業や、それに伴う補填のための授業が本来の夏季休業期間にも行われたため、準備に費やせる時間は例年よりかなり短くなった。そのような中でも生徒たちは限られた時間をフルに使い、時には連日35度を超える猛暑日であっても、仲間とともに展示作品の準備をしてきた。最終的にはどのクラス、校友会もそれぞれがベストを尽くした作品に仕上げることができたのは、本当に感慨深いものがあった。全日制のみならず定時制や通信制も、極めて短い準備期間の中で生徒たちが心を一つに作品制作を行ってきた。

今回の文化祭では感染症予防対策として三密を避けるために、体育館や玉翠ホールでのイベント鑑賞券は事前抽選となった。また、どの団体も、マウスシールドやパーティションなどを活用しながら対策にしっかりと努めた。菊池寛の短編『マスク』を題材とした書道部の作品など、今年だからこそ行われた独自の催しなども見受けられた。



このような状況だからこそ、学校を挙げて学校行事を盛り上げる。今回の文化祭は紛れもなく成功であり、生徒たちの活力の象徴となる文化祭であったと言える。

〈クラス展示一覧〉

- 1年1組 SUPER TAROBROS.
- 1年2組 加速する恐怖
- 1年3組 トリックアート
- 1年4組 バカッコイイ

第九演奏会

- 1年5組 VS Virus
- 1年6組 爽回汗！(コーヒーカップ)
- 1年7組 加速探偵とあるパーティの事件簿
- 1年8組 シンデレラ
- 2年1組 大仏
- 2年2組 Stay in the Tower
- 2年3組 パイレーツ・オブ・2ー3
- 2年4組 おいでよ高生 どうぶつの森
- 2年5組 壁画
- 2年6組 TOY STORY MANIA!
- 2年7組 カールじいさんのボットンと一軒家
- 2年8組 JURASSIC PARK

通信制 高松高校通信制について

定時制 Welcome to a new world

コロナ禍において、我々高校生の活動も様々な面で大きな制限を受けることとなりました。ただ、そのような中でも今年度の第九演奏会・ハートフルコンサートは何とか開催されることが決まり、音楽部一同としては感謝の思いを胸

時の高松高校の様子や大学での想い出についても語ってくださった。特に、高校時代には「自分がやらずに誰がやる」という強い気持ちで第二十九代高松高校生徒会長選挙に立候補し、見事に当選されたことである。全体会終了後の有志が集う第二部の会では、質疑応答の時間に新幹線開通後のマリンライナーの存続や移動時間の短縮について詳しいお話を聞かせていただくことができた。

現役の生徒たちにとって、自分を信じて努力することの大切さについて大いに学ぶことができた講演会となった。

に本番までの日々を練習に打ち込むこととなりました。例年とは違う多くの難点が生じる中、先生方はコロナ対策を万全に練ってくださいましたことと思います。

さて、同窓生をはじめ来場者がプラザに集い、合唱を行うのが大きな魅力であるこの行事ですが、今年度は残念ながら外部の方々の入場が出来なくなりました。加えて、本番直前での県の感染症拡大警



戒レベル引き上げに伴い、出演する生徒の保護者の方々の入場さえもなくなってしまうました。本番までの合同練習も実施できず、合唱については全員がマスク着用を義務づけられ、前後左右の間隔を1m以上空けるなどの対策が講じられました。大きな不安の中での開催となりましたが、「今だからこそできることを全力で行う」をテーマに、少しでも前向きかつ感謝の心をこめて我々は歌いました。行事としての規模が縮小化し、保護者や同窓生をはじめとする多くの方々にご来場いただけなかった無念、もどかしさもありました。しかし歌い終わった後の達成感、そしてこのような状況下でも多くの人たちの努力によって開催できたという喜びと感謝。例年のような壮大さには及ばずとも、この年ならではの特別な思いを感じることができたのは貴重な経験だったと思います。自分たちの歌が誰かに少しでも喜びを与えられたなら、それは本当に幸せなことです。この年、「歓喜の歌」を歌いできたことには必ずや意味があったのだと信じています。

三年 音楽部部长 生咲 優奈

第2回 GGA開催

『これからの四国』を考えよう
千葉 昭氏 昭和40年卒

令和二年十一月四日、第二回玉翠グローバルアカデミーが開催された。今回は四国電力株式会社相談役及び四国経済連合会相談役を務める千葉昭氏に講師としてお越しいただいた。

講演会第一部では『『これからの四国』を考えよう』という演題で、新幹線の四国開通や四国における主要企業、主要国のエネルギー自給率についてのお話をいただいた。電力だけでなく、情報通信やビジネスなど、様々な分野から四国の未来を熱く語ってくださったことが生徒たちにも強く印象に残ったようだ。また、ご講演の中で千葉氏が高校生だった当

退職 髙松教育課課長補佐(兼主任指導主事)
退職 髙松高校(再任用フル)
退職 髙松高校(再任用フル)
退職 髙松高校(再任用フル)
退職
早期勸奨退職
退職 髙松高校 時間講師
退職 髙松高校 時間講師
髙松教育課主任管理主事へ
保健体育課主任体育主事へ
香川中央高校教頭へ
三木高校へ
坂出工業高校へ
髙松東高校へ
髙松高校通信制へ
三木高校へ
退職
髙松東高校時間講師へ
退職
退職
退職
小學校事務へ
香川丸亀養護学校より
坂出高校より
観音寺第一高校より
香川中央高校より
三本松高校より
三本松高校より
三本松高校より
高松西高校より
採用(大手前髙松中等学校より)
採用(髙松高校期付実習助手より)
三木高校期付講師より
三木高校養護助教諭より
新規採用
新規採用
新規採用
新規採用
高松北中学校より
三木高校より

(令和3年4月6日現在)

高松高校図書館

令和二年度

令和三年四月三十日現在

会費納入者

旧職員

天野篤、池西裕、石井睦啓、石丸祥子、井上嘉久、岩野公彦、植田誼、浮田清市、朝俊男、大屋敷孝、岡田収司、木村斉、久保豊、久米正篤、小松昭夫、斉藤嘉之、杉岡保之、高井忠、中條孝則、筒井優、長尾裕隆、中野望、乃村龍溪、畠山敏明、真鍋達雄、真鍋正明、三谷敏雄、宮西比呂志、本澤大弘、山野裕章

高中

昭一三村井進
昭一五川崎正明、左達史朗
昭一六加藤達雄、福家幸二
昭一七塩田治雄、田中貞三
昭一八毛利忠幸
昭一九北島千里、森博直、安岡正温、吉武秀夫
昭二〇(五〇回) 大津新平、小川純、木内正夫、牟禮剛、山口惇、渡邊典雄
昭二〇(五一回) 入谷啓一朗、萱原博美、黒田貴芳、柴野照博
昭二一真鍋舜治、水野俊夫
昭二二池内英夫、金谷庚午郎、玉川和隆、初瀬恭次郎、藤澤龍一、藤島正行、向井正儀、山下喜代和
昭二三阿南公久、綾田修作、岡内伸一、川越裕也、佐野宏哉、煙草谷十三郎、村川正良、若井亮一
昭二四井口裕夫、小松信幸、中條利祐、原哲三、藤本孝雄、丸吉幸也

晩翠

昭 九宇多田英子
昭一〇黒川敦、細谷ヨシ子
昭一二宮脇登美子、吉田安子
昭一五酒井麻名、高德多美子、松尾フジエ
昭一六尾方光栄、笠井愛榮
昭一七綾英栄、漆原千枝子、川崎二三、松原キヨエ、村尾幸子
昭一八赤沢芳子、池田喜美恵、上原祥子、亀山愛子、熊

野弥生、櫻又フミエ、瀬詰照子、中田文子
昭一九青木富美子、岩井晴子、太田清江、小比賀清子、鎌野咲、里野美砂子、高松延子、中西良子、脇和子、脇節子

昭二〇(五) 秋山多美子、神原郁子、桑内道子、佐々木結子、妹尾秋子、玉岡敏子、松岡千恵子、宮脇シズ子、山代苛津子、若松美代子

昭二〇(4) 石原京子、岩井武子、恵美康子、大山禮子、加藤鎮子、佐藤貴代子、助吉ミツ子、陶山和子、中山容子、波多和代、八田明子、古竹佳子、松島千代、溝渕智子、山田洋子、吉原千香子、渡辺たま子

昭二一安達恵美子、出渕寛子、伊藤ヒサエ、井上幸子、入江一恵、植田美重子、長孝子、神谷順子、川下郁子、岸田雅子、河野桂子、重村雅子、樽井良江、中村玲子、成瀬トモ子、西山恵美、長谷部みちよ、廣瀬芳子、二川幸子、古市寿子、堀川幸、山崎朝子、山崎信子、吉野登嗣子

昭二二井内菊代、岡崎富枝、神内民子、高嶋桂子、筒井喜代、手島芳子、西尾信子、宮崎照子

昭二三穴吹瞳、伊藤悦子、鶴川リツ子、岡民子、岡田町子、加藤京子、鎌田良子、上館須賀子、白石晶子、菅原節子、田尾敏子、高嶋和子、瀧野八重子、田村ユキ子、常谷俊枝、鶴見ツタ子、出口ツタエ、都甲タカ子、根本道子、東原美代子、増田美智子、松岡道代

昭二四井川弘子、泉川壽子、泉川良子、坂坂恒子、上井茂子、太田通子、奥村久美子、梶原生子、加藤梶子、木村晶子、河野孝子、小西道子、小林友子、佐々木慶子、渋谷澄枝、志村澄江、菅原礼子、鈴木伸子、関本豊子、竹島頼子、武田節子、多田幸子、玉城玲子、辻幸子、林輝子、真鍋温子、宮武久子、安田道子

昭二五相谷勝一、泉川三之助、井原昭三、今長谷見沙、内田良和、大島陽子、大山貞雄、岡督二郎、岡田正宣、片桐チヅ、河西孝信、木村貞章、木村崇也、木村寿美代、国方勝、香西充、斉藤尚子、阪本香子、佐藤清子、塩井敏治、柚友博子、高島健、多田栄、多田幸男、立川重彰、田中敏弘、筒井勝義、鶴居健、遠山絢子、戸澤清行、中村清、久住泰司、平見芳和、藤岡正善、堀田一義、堀正

女子高
岡久美子、岡部澄子、河野孝子、中塚綾子、野口喜世子、蓮井和子、八田恵美子、久本ミユキ、福田文子、星野昭子、水野綾子

高 高
昭二五相谷勝一、泉川三之助、井原昭三、今長谷見沙、内田良和、大島陽子、大山貞雄、岡督二郎、岡田正宣、片桐チヅ、河西孝信、木村貞章、木村崇也、木村寿美代、国方勝、香西充、斉藤尚子、阪本香子、佐藤清子、塩井敏治、柚友博子、高島健、多田栄、多田幸男、立川重彰、田中敏弘、筒井勝義、鶴居健、遠山絢子、戸澤清行、中村清、久住泰司、平見芳和、藤岡正善、堀田一義、堀正

和、横塚安得、松村和男、山口功男、山谷敏夫、山本竹彦、渡部和子
昭二六赤松貞子、浅田宜仁、安部琴美、伊賀智壽子、石丸芳孝、泉亮、磯部祐子、稲田公子、井上之、岩田和哉、上埜テルミ、植原守雄、大須賀達、太田英章、大林淳子、小國照子、雄倉孝尚、大佛和子、香川勝、香川貞子、梶富喜子、川越久子、冠野孝子、北島定子、木下文夫、木村道夫、國宗啓子、久保あけみ、小林克己、小林美代子、酒井玲子、櫻井文榮、七條昌一、篠田茅子、島田美津子、下津汎子、末澤正則、十河千恵子、竹島十三子、多田志ず、立川皓、田中博子、谷毅夫、谷本エミ子、榎端展子、外島英彦、富岡慎一、富山弘子、中北恭子、永野和世子、中村暁三、灘波文子、西村慧子、根岸茂、野村美栄、初瀬保子、葉原耕平、濱田暹、濱田弘子、板東節子、平井二郎、深田由紀子、福原ヨシ子、藤田喜子、蒔田美智子、松岡正近、松坂徳子、松本利夫、真鍋ヒロ子、三木宣子、溝渕浩、六車幸子、森武子、山名昭恵、吉野宗、和良地みさ子、安田秋雄

昭二七相谷美智子、明石多美子、朝江美恵子、井川久之、池内皎隆、池田乾一、石津則子、石橋アイ子、泉谷淳子、板野芳子、今澤曜子、今田寿子、入倉満、上坂小夜子、江口英彦、大久保弘子、太田一彦、大塚寿子、大西久美、岡義男、岡康子、岡野博通、岡本節夫、長船琇子、小田倣子、柏原利衣子、勝又忍恵子、角陸正健、金井孝文、北岡貴美子、北山睦佳、木下治代、木村栖子、木村多美子、久保嘉代子、熊谷慶子、栗山明子、小島徹、小西益二郎、坂口弘子、佐々木史朗、真田誠一、塩田賢治、塩田富美子、高橋正、高松一幸、竹内昌子、多田幸子、多田昌弘、田中健吾、谷野瑞代、谷本久美子、田村日出男、土田孝栄、長尾薫、中谷浩子、中村康子、永森敏行、仁木圭子、蓮井玲子、長谷川順子、濱本藤夫、林越幸、廣瀬朔子、藤島克子、藤本演子、堀池進、堀家正、松井正、松原大子、真鍋未廣、真辺千也子、水島寿栄子、水嶋浅茅、水野久子、水野道代、皆黒未知代、三村祥子、宮武茅子、宮地昌子、三好洋子、三好幸子、村尾シズ子、藪木英俊、山口芳子、山本良子、山本洋子、吉田正、渡辺潤一、内海彰子、久保和子、前田悦子

昭二八青木泰子、青峰徹、秋山幸子、浅田正夫、天野彰、安田幸弘、池田孝、出石賀代子、泉川富栄、井上洋子、今岡哲雄、朝紀子、太田宜子、大塚裕康、大庭珠子、大畑峯子、岡内節子、小倉典康、落合佳子、香川勉、鹿庭緑、加宮由登、萱原洋子、川口春陽児、木村典子、窪田紀子、小嶋治男、小谷主子、児玉正豪、児玉昌子、齋藤敏夫、迫田義昭、佐々木寿、真田登茂子、塩谷智恵子、

昌司照雄、白石典彦、末澤富美子、須賀原幸子、鈴木友子、須藤淳子、関谷聡子、造田純代、十河弘、高橋淳二、多田信夫、谷隆夫、鶴川舜一、寺田邦子、寺林悦子、永井正敏、長尾久子、中島倫子、長野廣子、中村千恵子、西田節子、野正照美、浜垣勇、平田實、平田啓子、福田隆宥、細谷誠、堀池和子、前川初枝、増井清子、町田照代、松本美津江、真室哲也、宮本寛治、村上瑛子、毛利滋、森昌博、森恵洪、山口弘之、山西守、横田大和、吉田富久美、吉田留美子、米女富美子、高松千鶴子、村上雅子、綾田兼一、真鍋義昌

昭二九青野真佐子、浅田峯子、井川和子、石橋治、伊丹泰子、今治幸子、岩崎恭子、氏家弘子、漆原佳子、江口昭彦、大川明、大熊明子、太田幸子、太田伶子、奥村勉、雄倉幸昭、加藤伶子、熊善一郎、薦田快公、阪下美智子、佐藤正美、佐藤靖子、篠原緑、杉原史子、炭田順作、田中澄子、田部誠二、中條泰行、都村忠弘、土居邦子、永井眞智子、中川美代子、中村成子、中村敬子、西原正純、羽坂翠、長谷川汎、濱野善之助、東原康雄、福田哲夫、福西久好、藤井和代、藤本克子、藤本方子、二川正之、間島豊、増井邦彦、松永富美子、真鍋浩三、真鍋千賀子、三浦昭子、三木彬嗣、三木和子、三嶋美智子、三好良子、宗田純子、村上民子、山口元子、山地由子、山城誉子、山田男、山田久雄、湯谷節子、吉田晃、和田弘子、辻敦子、藤田孝栄、松崎淳子、青木千夏子、大林正敏

昭三〇秋山夫佐子、浅野道子、穴吹イヌエ、泉川嘉輝、稲井敬、井本英子、植田明、植松修三、遠藤俊一、大沢一子、大林弘子、大森典子、大沢政賢、岡田美子、貝沼三栄子、加宮利貞、木村真、黒川教子、佐立弘子、篠原俊一、白井勝子、末澤進、鈴木靖子、武田睦、田中千種、辻孝夫、鶴尾章、豊田治、中障子不二子、中橋喜久子、中村博實、西井戸惇子、西岡喬、原田佳江、坂東富美子、平尾和子、平田祥子、福田尚子、福家皎、藤原洋子、藤本烈、堀川康子、前川久和、前谷亮三、間島美智子、増田猛、松井昌子、松岡陽一、三木貞、三谷浩一、源淑子、宮武正、宮武寛、宮本宣明、村山守信、森井晶子、森下一仁、山下富士夫、横山保子、吉川孝、吉本照子、渡辺澄雄、国土美美子、上枝基一、藤田一郎、古川利夫、山下一盛

昭三一朝岡敏子、池上宏、池田郁子、井竿喜久子、石濱和子、泉川繁代、伊藤正敏、井上靖彦、井上和子、岩部克美、上野富美子、植松武彦、鶴川英、大熊敏彦、大崎凡二、大坪浩、大西孝一、岡昭生、岡野道生、学坂邦彦、織田昭、小野朝子、垣田亮治、笠井省三、片岡浩一、加藤徹、角谷實、狩野七子、河合功、願化祐子、神原博、

昌司照雄、白石典彦、末澤富美子、須賀原幸子、鈴木友子、須藤淳子、関谷聡子、造田純代、十河弘、高橋淳二、多田信夫、谷隆夫、鶴川舜一、寺田邦子、寺林悦子、永井正敏、長尾久子、中島倫子、長野廣子、中村千恵子、西田節子、野正照美、浜垣勇、平田實、平田啓子、福田隆宥、細谷誠、堀池和子、前川初枝、増井清子、町田照代、松本美津江、真室哲也、宮本寛治、村上瑛子、毛利滋、森昌博、森恵洪、山口弘之、山西守、横田大和、吉田富久美、吉田留美子、米女富美子、高松千鶴子、村上雅子、綾田兼一、真鍋義昌

昭二九青野真佐子、浅田峯子、井川和子、石橋治、伊丹泰子、今治幸子、岩崎恭子、氏家弘子、漆原佳子、江口昭彦、大川明、大熊明子、太田幸子、太田伶子、奥村勉、雄倉幸昭、加藤伶子、熊善一郎、薦田快公、阪下美智子、佐藤正美、佐藤靖子、篠原緑、杉原史子、炭田順作、田中澄子、田部誠二、中條泰行、都村忠弘、土居邦子、永井眞智子、中川美代子、中村成子、中村敬子、西原正純、羽坂翠、長谷川汎、濱野善之助、東原康雄、福田哲夫、福西久好、藤井和代、藤本克子、藤本方子、二川正之、間島豊、増井邦彦、松永富美子、真鍋浩三、真鍋千賀子、三浦昭子、三木彬嗣、三木和子、三嶋美智子、三好良子、宗田純子、村上民子、山口元子、山地由子、山城誉子、山田男、山田久雄、湯谷節子、吉田晃、和田弘子、辻敦子、藤田孝栄、松崎淳子、青木千夏子、大林正敏

菊池洋子、木下久美子、木村孟、久米伊久子、倉田康男、栗永和子、黒田道子、香西泰彦、香西幹夫、香西壯祐、古賀英子、小林圭一、佐々木敬子、佐竹正博、佐野喜代子、篠原明子、柴田欣男、下山順子、白井治、白井邦、新名弘康、須賀敦子、関知恵、高木美博、高原尚子、田中早苗、田辺幸範、田村秀子、中條安雄、中條康夫、粒来美智子、寺内和子、長尾マリ子、長町昭子、中村都、中村幾代、中山信之、西川勢津子、西村和雄、西本綱三、西脇美重子、原節子、樋口正明、久松節子、平井茂子、藤澤敬子、逸見正造、星川美智子、細田淳雄、前田治衛、松尾伸郎、松尾景子、松本宏、松本澄夫、眞鍋恭子、溝口博、溝渕孝雄、三谷壽一、宮武茂行、宮武敏夫、村井弘委、山崎敏輝、山田光彦、吉川和子、木村允子

昭三三秋山充子、浅野廣子、足利昌子、池添眞砂子、池田俊史、石川晃、石田周子、泉谷勝彦、今井輝子、今岡重夫、今松順子、上野美津子、鶴澤敬子、牛尾矩子、遠藤忠知、太田武夫、太田質、大塚順子、大西綾子、大淵圭子、小笠原坦、梶河正孝、樫野弘子、鎌野孝和、川崎妙子、川谷幸子、河西善三、木島京子、木村宗祐、久保田玉枝、久米哲雄、合田重子、後藤武俊、後藤正順、小西靖子、小西裕子、佐伯勉、塩梅若菜、塩田喜彦、塩田浩代、塩見宏子、四宮茂章、島田勝男、杉本静江、高橋朋子、武田七郎、竹林治朗、多田誠子、龍田玉子、田中伊都世、谷川照、谷澤田鶴、地下洋、飛谷高照、豊田武則、鳥居三知代、中筋信二郎、中村咲香、中村利寿、西浦雅子、波多野光子、花崎良政、濱田清、日野弓樹、藤井人志、藤田恭子、松島明子、松本俊司、松本邦子、三谷清子、三野正博、宮武治郎、宮本宣博、三好守真、村上征一、村上由美子、本岡和光、森田健一、森田幸子、森山義政、安永英明、柳澤啓三、山川早苗、山崎可壽子、山田勲、畠山セキ

昭三三芦原義典、天野勢津子、綾野仁嗣、安西典子、池尻治、石井全、泉谷絢子、今澤一恭、井宮秀明、上野文夫、植村登、臼杵貢江、大岡絢子、大久保秀典、太田英子、大捕宣英、大西晃、大橋晶、大林紀久子、大村晃子、岡野俊樹、岡野道子、岡本政俊、芋坂よし、小野俊祐、川井彰三、川上智、河北晏矩、川添勲、河原忠一、神辺俊郎、北浜章子、木村栄二郎、国方康博、久保勲、久保正範、桑名芳昭、近藤正、佐々木成忠、佐藤弘子、柴野孜、瀬藤利生、相馬花子、十河靖子、高島邦彦、高橋久代、田中保夫、谷本正彦、谷森勉、田村大司、千葉節子、中井道子、長尾敬子、西岡亨、西原和子、長谷川勝子、原田貴弘、平田喜一郎、平野数夫、廣瀬彰彦、藤川寛之、藤村武子、藤本良志美、二川文一、古市征、古川登代美、

前川勲、前田道之、眞鍋光広、間宮淳子、丸岡幹二、武藤満雄、森本肇、八代紀子、八十川眞二、山口興平、山田裕規、湯野寿也、吉岡崇、吉田陽彦、渡辺勝典、片山由美子、斎田仁美、佐野紀子、伏石誠子、藪木公子、横関紀久子、玉木寿美子、吉田泰子

昭三三田田繁美、浅沼章子、足立昭史、安藤知子、池桂池田一昌、石田曉光、石原英輝、井上リエ子、井上富美子、上田和子、大久保博、太田孝、大谷忠、大西泰子、大野由美子、岡本徳子、尾崎信子、香川浩三、梶野茂、香月桂子、加藤祥子、鎌野幸子、上村哲資、鴨田昭代、河合洋祐、河瀬一紀、川田泰生、喜多俊雄、北泉敬史、木原文太左右衛門、國宗達旦、河野一郎、近藤敬司、斉藤雅美、坂野士奈女、佐竹睦子、佐藤薫、佐伯武頼、塩本宏子、品治重忠、柴原力、渋谷宣隆、清水美智子、新名長文、杉喬、関根和子、曾川邦子、十河智江子、田尾正子、高橋美也子、高橋紀代子、竹内章雄、手塚裕子、土居英樹、土井弘子、豊田郁子、仲野眞次、中村潤二、中村裕恵、名合智子、鍋田佳子、新居哲、西山要、野上健児、半田昭子、東川澄清、東川郁子、樋口順一、平井伸也、平澤弘美、福家俊男、藤井照芳、藤本公博、細川治、堀家敏弘、牧野豊、松本英幸、眞鍋武紀、眞鍋和男、萬谷健二、三栖祥児、宮川栄之助、宮田雅子、三山雅敏、宮本圭子、村上雅子、森岡令和、森谷忠造、八木正和、矢野隆子、藪内捷文、山本正雄、横井敏幸、横手憲治、吉野紀代子、渡辺修、村上博

昭三五青木喜美子、秋山欣子、綾野親徳、安藤瑠美子、伊賀尚志、池田史子、池田直樹、石田守正、泉文隆、泉川道子、伊藤保恵、糸見幸代、岩井和子、印藤孝彦、上原繁美、内海朋士、大川冷子、大木幹夫、大坪和彦、大西大介、大西信子、大類久美、岡俊一、岡三喜子、岡崎旦、小笠原武、小笠原尚子、岡田國義、岡田和彦、織田久美子、小野利明、小原文子、笠井邦彦、笠井ミヤコ、片岡章、加藤鏡子、鎌田進一、鎌田毅、鎌田隆、鎌田英信、加宮恵美子、河合英幸、川口正之、河田俊隆、神原純子、菊池洋子、岸田勝江、北谷英紀、木下進、木下榮一郎、木村学美、木村勝紀、国金庸夫、國孝孝雄、柰原俊孝、熊田文江、栗田昂、黒田泰弘、河野哲夫、河野章子、国生徹、兒玉皓次、兒玉秀正、小林好美、小林叔子、駒松健、斉藤寿良、酒井典子、佐々木史朗、佐々木仁、佐藤彰男、三田喜代美、塩田栄子、柴田輝男、修理輝男、城山和代、白坂壽子、末澤功、末澤玲子、図子知久、ストラッサ節子、世羅義昭、園浦政勝、田井朋子、高木茂昌、高崎浩敏、高嶋克洋、高杉千瑞子、高濱孝、高原徹、武田善行、伊達博、谷沢一朗、谷原昭子、谷本朋子、谷

本美那子、谷森圭子、玉越公智、田山棟信、團野恵子、中條和臣、中條邦宏、土屋美子、土屋道代、鶴尾公子、土井伸一、豊島雄一、豊島英俊、豊島徹、折原慶子、富永恭四郎、富永千恵子、豊田資則、豊田章一、長尾綾野、中川道子、長嶋ヨシエ、中野紀子、中野文子、中村昇、中村恒章、中村美千代、中山幸子、西本功子、西吉利裕、野澤宏江、乃村光子、秦英樹、浜谷文保、浜本俊一、平地嘉子、福田隆子、藤井雅義、藤井英世、藤木孝一、藤田紘美、藤本征機、藤本定斗支、藤本洋司、藤原典雄、二川浩三、星野善美、堀田健治、本田道明、増井武彦、増田恵美子、松木恭一、松木信、松本修二、松本孝子、眞鍋敏毅、眞鍋徳男、溝川陽子、三井勲、三野宏、三村良弘、三宅治美、宮武正隆、宮武秀夫、宮武哲、宮本仁美、向井輝彦、元久正美、森山晃、山下俊次、山科桂子、山田泰三、山田小恵子、山本泰嘉、山本晴男、横田宗忠、横山邦子、吉野英子、和田脩、渡辺剛、池田修

昭三六青木博美、浅田昭、芦原睦子、足立宏美、穴吹洋幸、安倍惇、池田正実、石原優子、市原功、井上浩二、岩村清志、植松登志子、植松芳哲、宇賀美代子、江村美光、大宇根成子、大川元臣、太田幸子、岡奎子、岡興久、岡順子、岡田佳代子、奥田雄一郎、奥村勝彦、越智美子、小夫淳示、鹿兒島鐵子、片山重正、鎌田基志、鎌田美枝子、釜野智裕、鴨川尚史、木下忠雄、木村和照、木山昭栄、久保正篤、久保昭子、桑島美、小嶋武士、後藤浩一、五ノ坪恵子、小林孝良、小林忠子、近藤洋子、佐々木ウタ子、佐藤芳久、篠原茂信、四宮靖三、四宮美江子、神内好伸、陶聡子、杉山義武、瀬戸厚子、高木久美子、高橋良忠、滝洋一、竹田昭雄、武田英徳、多田博美、田中暁子、千切谷多一朗、千葉洋士、辻男、津田健二、堤啓、寺竹幸子、徳永孝明、飛田久子、飛谷節子、豊田英紀、中村敬、中村照美、西川怜子、西村博、馬場圭子、原洋子、藤本良子、細川修吾、前田葉子、増田徹也、増田昌三、松沢尚子、松下好博、松本英伸、松本保子、眞鍋一史、眞鍋尚義、眞鍋宣子、眞鍋芳美、三井賢二、宮崎勝典、三好紀子、三好益美、村杉高、村杉美子、森祥子、森渥子、谷内田一忠、矢部敦子、山地正彦、湯藤美千代、吉武泰俊、與田康子、和木通、渡辺寛、和波保、多田義博

昭三七秋山建樹、荒井信子、荒木正志、安藤正道、伊賀淳、市原洋美、猪又清之、漆原澄子、圓藤寿穂、圓藤とよ子、大崎弥枝子、大野毅郎、岡崎洋、岡田超生、小川和彦、小国昭、小野泰子、織田公子、香川暢也、片岡勝子、金田清臣、鎌田紘志、喜多克幸、北泉洋子、北岡保之、熊敏彦、久米修三、黒田節子、桑名信雄、五井修子、

香西敏、後藤伸雄、小西正暉、小松義照、近藤俊子、斉藤司朗、斉藤尚則、澤村田鶴子、塩田洋、塩田佐喜子、塩津俊幸、神内美美子、神保昭子、杉内克己、鈴木郁子、千野昭代、高尾義介、高濱信之、高松義、高宮誠、竹下邦彦、立花広海、谷川幸夫、玉置正、辻勝子、寺尾駿、鳥居昌子、鳥飼敏、長尾幸夫、長滝秀信、中野和彦、野崎敦夫、幡英一、幡多茂樹、林越則昭、広瀬健次、福島正信、藤澤峻、藤村祥一、二川尚子、船曳桂子、細川昌美、塹江正志、松岡博昭、松崎弘美、松本芳樹、三原弘子、宮北昭彦、三宅加代子、宮武邦夫、宮野明子、宮脇和夫、村上誠一、森忠彦、森田安芳、森田順子、山内康生、山崎敏秋、山崎敏輝、吉田育代、和木典子、和田秀子、渡邊美智子、鹿嶋忠明

昭三八赤松治美、朝國太啓子、荒井瑞代、石川喜久、石橋紀明、石原久子、和泉英彦、今岡幹典、岩倉信子、岩嶋樹也、上北圭子、植田重則、上田英敏、植村忠彦、内海茂男、太田光則、大西博子、大橋公子、岡田幸子、岡部敦弘、小川実、梶村正俊、鎌田孝子、鎌田邦来、北角幸弘、吉瀬祥子、後藤節子、佐々木典夫、重松龍、新谷勝廣、新藤禮子、新藤勝利、神内邦隆、薄田栄子、須田勉、十河正親、十河泰子、田井稔三、田岡聰、高井紀代、高木宣子、高田美穂子、高橋修一、高橋昭子、高橋悦子、高松洋、田阪武夫、多田泰子、立山真浩、玉城哲子、竹馬輝子、辻義人、東条寿男、西井純子、袴田邦子、林雪夫、原田正文、廣田一機、廣田正子、富士三千子、福家守、福家正博、藤岡勢都子、藤田雅敏、二川俊秀、松高壽子、松本秀三郎、眞鍋慎吾、眞弓哲三、水本尚、宮北幸、宮武正明、三山恵、宮脇美子、三好尚武、向井友一、元木碎香、森茂昭、森川信子、森田紘一、矢野智行、山谷幸男、横浜佳子、吉田莞爾、和田かず子、渡辺トシ子、石川洋介、常谷忠克、中山哲子、藤田章子、前田勇

昭三九赤澤寛幸、明日正則、東時子、伊賀俊夫、池田駿介、石井まり子、岩部道孝、上田浩一、植村正子、遠藤啓吾、遠藤顯子、大西興二、大西昭宏、岡健、小笠原邦夫、小笠原善郎、岡田誠、小川道子、小倉良弘、尾崎修敬、小畑美智子、小比賀俊彦、片岡眞二、加宮壽夫、河西和江、木村信行、久保久仁子、桑井政信、小磯智恒、香西祥子、小塚照美、小西博行、齋江知、齋藤壽彦、佐古昭代、笹川滋、佐竹勝利、塩田嘉明、重松純子、渋谷崇子、須田嵩、造田佳津子、高田等、田中和美、千切谷真澄、寺尾眞樹、中井徹、中井護、中西登紀子、長町典夫、西川正樹、蓮井直行、蓮井愛子、蓮井加代、濱本貴美子、原田美由紀、平池秀子、藤川吉洋、藤川幸子、眞木徹志、増田恵弘、松永紀子、松村憲太郎、松本勉、松

本勝行、松本英子、真部利応、三野安意子、宮北薫、村井恵子、山下祐一、山地正克、横田豊、吉岡郁子、吉田雅子、吉原哲也、和田朗、熊井小百合、常谷香代、米津照夫、

昭四〇赤松葉子、東弘子、穴吹和士、穴吹貞文、伊賀豊和、石川眞澄、泉谷武信、伊原本久美子、今上茂樹、岩瀬雅宏、岩部モト、岩藤昌樹、臼杵季典、大川直茂、小河孝則、小野スミ子、片山曉子、荳原徹男、河田マリ子、

神野隆志、北坂典子、栗林伸碩、香西真弓、後藤康生、後藤正徳、小西憲昭、斎藤喜久代、品治純子、末包昭彦、十河トモ子、高尾佳巳、高見純子、詫間敬芳、竹本正憲、

多田文雄、谷口光、谷本義隆、玉越美雪、千葉昭、土屋博子、堤康、角田朝則、寺尾卓、遠山誠司、徳永信子、中井敬子、中上昌二郎、長崎厚子、中西かをる、中野美

恵子、長野新一、中村茉莉子、中山隆司、中山惇、中山義孝、名和詔子、西尾嘉孝、西尾道子、西田耕治、西原浩、乃一裕、野口章男、野口節子、八田光、花岡通子、

平尾耕三、福井義喜、福家哲夫、福家秀紀、藤川行江、古市恵子、前田みどり、外形勝、松岡睦子、松田滋明、松原珠実、松村哲男、松本百合子、水尾一信、湊唯義、

三原衛、茂中淳二、森岡茂、森島美紗子、森棟公夫、森本雅栄、森山敏子、八十川紀夫、山神弘、山下美智子、山田義雄、湯藤隆司、吉田穂束、中条重福、坂東マサエ、

福島タケ子
昭四一赤沢武基、明石豊重、穴吹久子、荒井るみ、岩田喜美枝、岩村わか子、浦川建一、江郷知己、太田修、大

谷俊子、大西利喜子、大瀨義幸、大藪修二、岡悦子、小笠原敬三、岡田千昭、岡田憲政、岡本敬子、小川康正、

萩田耕三、奥田哲哉、小田レイ子、折坂義雄、榎原正也、加藤英子、金子正光、蒲田雅子、鎌野昌司、河口三枝子、

河瀬知子、川田清彌、川西博子、川南節子、木下俊子、日下瑞子、久保稔、久保田ミワ、窪田和子、熊野實、桑

島治子、香西幸夫、合田吉徳、河瀬八重子、小坂チエ、小西博子、近藤秀樹、佐藤修二、佐藤隆、七條益代、志

摩靖子、島村久美子、白取美由記、杉上彰、助川悦子、鈴池典子、鈴木清子、砂川敏文、関根建一、泉保史、田

井隆子、孝岡弘子、高田敏也、高橋博之、高濱安子、高宮あゆみ、高山桂一、武井邦夫、武内滋、多胡護、多田

雅子、田附高、立野省一、田中利彦、田中陽子、谷原朱美、田村貞雄、田村真美子、筒井順子、鶴見邦夫、天雲

恭彦、土居徹、登那木悦子、富田朱美、仲下京子、中原きよ子、中村秀明、中村弘、中村陽子、中山艶子、灘波

章、野口吉秋、浜坂幸代、浜田恭子、原京子、東原恵子、広瀬政憲、広瀬讓治、広瀬幸子、福井励子、福家智美、

藤澤淳、藤野裕子、藤本彰二、二川和彦、別枝隆、堀亮子、堀井茂男、堀池典子、松井美美、松浦典代、松本一

路、堀本太一、松本信吾、松山千恵子、真鍋登代子、真弓研介、萬谷嶽典、三浦卓二、三木知子、水落邦子、溝

淵利博、三橋朝子、箕田俊介、宮崎哲雄、宮崎一郎、宮崎高子、宮下慎一、宮本輝夫、宮本森夫、宮崎良郎、六

車正章、村上克己、牟禮明、森茂樹、森知子、矢野恭治、矢野博昭、山崎三十子、山崎律子、山下邦明、山下民子、

山田智、山本一郎、横田ひとみ、和田秀徳、森川輝男、昭四二明石陽子、阿部修二、池内巧、池田文明、池田茂

池田博行、石橋真知子、稲田順子、稲田和則、井上協典、猪子順、岩崎敬子、岩嶋修治、岩田好範、岩本悟子、上

野廣子、朝修二、大坪美知子、小笠原倫子、岡島勉、岡田はる子、苧坂達文、織田靜信、香川茂雄、香川マサ子、

梶村恭子、片山博親、鎌田町子、河合公三、川西進、川西笑子、川野壽、河本彰、木谷紀子、熊野清、糸井純一、

黒川秀子、小磯修二、佐々木正博、佐藤加代子、佐野八重子、重成憲裕、品川直介、隅田和子、十河喜代、高嶋

博、高橋敏美、滝口秀則、田原清美、瑞田健二、瑞田隆子、対馬健三、手島洋一、中井敬一、中尾正喜、中土成

子、中村芳正、新谷充則、波柴幸子、橋本幸久、馬場康史、原田俊、菱谷誠二、平井大資、平井陽子、平尾準一、

平川峰子、福島正行、福山恵一、藤澤哲夫、藤田万久、藤花康子、二川正志、堀上さえ子、前田道宣、前田直俊、

前田恵子、前田糸子、植田實、増田佐由美、松浦利行、松尾和代、松岡修平、松野芳則、松本隆茂、松本学、真鍋泰子、三木周一、水本節子、皆川鈴子、宮武秀俊、森

一真、八尾房代、山内洋子、山形久美子、山下哲男、山本直樹、横手朱美、渡辺行範、植條清美、岡田久、柏原俊治、毛利成一

昭四三穴吹修二、安西英明、飯田博、飯間秀雄、伊賀三

千廣、井川洋右、池田篤子、伊藤擴充、井上葉子、入倉

則夫、上杉哲人、植田里津、上谷一美、上野準一、植松

村谷年威、成瀬豊久、新谷富子、二宮信治、野上和子、連井茂幸、秦和也、林計治、林聖三、原田洋子、平尾美

子、平山隆子、藤沢謙二、藤澤万季代、藤田壽子、藤村勇、藤本隆幸、古澤幸夫、別枝修、星野次永、細川壽美、

堀家みどり、前田巧、松島孝信、松見涼子、松本学、真鍋信行、溝淵寿一、溝淵博司、溝淵敬子、三谷千尋、宮

脇範次、矢野裕子、山上英司、山上明子、山崎具美枝、山下明、山本二平、山本道子、吉田良順、吉本泰三、米

本文子、頼富節子、渡辺純子、中村友子、野網省平、昭四四秋本まり子、穴吹一雄、天野義行、天野百合、伊

賀宏文、池田育子、石川幸子、石原隆、糸瀬敏恵、井上正美、今井恵一、入倉憲二、上杉エリ子、植松恭平、内

原勇、遠藤隆江、大島邦雄、太田賀久、大橋洋三、岡田和美、奥田幸代、小野坂寿夫、小原文雄、海面豊、榎原

修、片木留美子、片山美穂、河井忠比古、河合幹夫、川田佐知子、岸本律子、木田一正、久能健一、熊丸幹子、

栗峯源子、小石直樹、小竹和夫、小西博子、斉藤旬延、佐々木大、佐竹悦子、里見恵子、柴坂敏郎、清水具代、

清水昌子、白川滋、神馬牧子、須田文登、高橋利治、高橋千寿子、竹内司、竹広章代、多田讓治、多田薫、多田

好克、立山潔、田中豊子、田村正行、土岐和美、中尾裕、中尾好輝、中尾洋子、長尾哲見、中川保、仲田恵子、中

山真理子、西田直樹、西山司朗、野崎達二、濱島研作、林越洋子、原田章二、坂東啓一郎、平尾幸夫、平田隆久、

広瀬真理子、福本敏子、藤本和子、松本伸一、真鍋一美、三木美穂、溝淵孝代子、三原聖則、宮井陽一郎、三好真琴、三好純一郎、三好久美子、向井万里子、棕木千津子、

山崎京子、山本博、湯浅康夫、吉田涉、吉田貞克、和田俊裕、渡部莊三、渡邊洋子、六車一夫

昭四五青木宏道、青木茂、池崎充、池田恒明、石垣佳邦、

石鍋典子、伊勢明人、伊藤輝一、井上米輝子、岩見葉子、

植田和弘、植松由量、氏家悦子、榎原恵子、大澤昌子、

裕、野崎孝枝、原田育枝、福西敏浩、藤原裕子、古川健造、別所博子、松尾謙二郎、松岡正己、岡岡幹雄、松家

由岐子、松垣富美子、眞鍋和人、眞鍋曉代、三浦雄二、三木祐子、向井幹雄、村山正俊、森岡眞治、森田知恵美、

安岡淳一、安井和彦、村山年紀、吉田恭典、米沢基子、若宮加枝子、渡邊智樹、渡邊寿磨子、渡里幸平、村川正信、大麻悦治、村上美智子

昭四六秋友直文、飯間龍彦、池見郁子、小路泰夫、植松道治、大谷義美、大村章子、小野田実、鎌田順二郎、

川上規子、川田宏行、鬼無敬子、木村修久、河本知二、小島英夫、齋藤誠二、酒井美智代、佐々和子、佐藤法暢、

篠田美津子、新川進洋、圖子泰、高橋京子、高橋彰子、田中康博、塚原布海子、辻川弘子、壺井和彦、寺井健、

土岐彰、富田直樹、中島久男、中島英男、仁木壯、長谷川浩一、浜町涼子、原口君代、日詰裕雄、平野佐代子、

藤澤孝男、藤原郊美、藤本京子、細松英正、眞崎牧子、間嶋弘、松井美紀夫、丸谷幸彦、三谷哲夫、村瀬正昭、

山内真弓、山本眞也、脇口明子、脇谷勇夫、秋山寿行、岩澤和夫、大西賢二、四宮洋次、松岡省三、安田元、山下和彦、横井若子

昭四七井口義也、池田恵子、猪崎弥生、一村公典、井上浩一、上枝正人、上枝百合子、上原昭子、上春育子、内

海順子、大角芳史、太田康子、大橋ひとみ、岡範全、岡幸弘、岡英憲、岡弘文、岡内利文、岡部玉恵、岡本吉民、

小野坂律子、梶野雅義、片山美代子、加藤恵子、川西健登、河本恭之、神田成美、岸上孝美、岸本光代、北井正人、木村ますみ、久保正典、久保隆彦、熊井ひとみ、久

米川啓、蔵田由季子、合地研吾、小坂真智子、駒木典子、坂口安男、佐々木和昭、笹倉啓子、佐藤茂、佐藤哲男、

志賀松邦敏、嶋靖記、正箱孝史、鈴木史江、十河邦義、

高田純子、竹内俊彦、多田美佐子、立岡英宏、壺井俊博、

出口清子、寺師明美、天雲俊夫、中澤亨、中西範幸、南

野三津子、西山徹、西山文子、西山弘子、野口隆、野崎

憲子、羽柴敬二、平池雅依子、福家智子、藤川宏樹、本

家陽子、間島賢治、松岡久美子、松岡知子、真鍋精志、

三浦誠、三日月善夫、溝口重治、三谷啓子、光宗皇彦、

三野朱美、三宅実奈子、宮武茂典、横倉浩三、和田勝、

渡辺忠俊、飯島裕幸、阪本一樹、土居範行、中野育子、

三崎隆志、三野容志郎

昭四八芥田敬三、阿部知代、井口進午、石田純子、泉尚

好、稲垣浩、稲田幸三、上原邦昭、上村和夫、大井久恵、

岡輝人、岡内清弘、織田幹子、亀井收、川北智司、川窪

洋子、川下讓二、菊地澄子、帰来雅基、倉敷ツヤ子、黒

川知文、小石泰子、香西一憲、小西二郎、齊藤久克、佐

竹一郎、里見昌信、清水信彦、白石宏志、関元貫至、十河政史、詫間実千代、竹林由美子、多田泰三、田中勝英、田中眞治、谷澤昭彦、寺嶋吉保、土居譲治、仲西さち子、中山緑、西山正寛、沼本篤男、納田安章、林義隆、久本光亮、福岡哲弘、藤井恵子、藤枝好、藤田和志、藤田光代、古市哲也、松田よし子、丸谷照代、水杉好子、美馬祐一、宮本幸治、宮本吉朗、宮本陽子、宮脇誠、森秋文、柳田りょう子、山口純司、山下友子、山地芳和、横山美登里、渡辺雅子、川原一芳、窪田良次、十河憲夫、富永信彦、永井崇雄、畠山茂毅、藤本美智子、松木孝之、真井邦晃

昭四九東雅之、安部明夫、安藤千代、伊賀和之、池田和真、石田謙作、石田京子、臼井俊文、内田徹、大甕由之、大西直恵子、岡内伸介、加藤昭彦、木村守、久保睦子、佐瀬洋一郎、鈴江ひとみ、高桑名保美、高山もと、武田英照、多田幸雄、谷本一成、土居邦壽、長尾忠司、中島延淑、中島鈴子、西川玲子、西原義和、野村充伸、平田芳廣、廣田光宣、福田安伸、本川一善、松延秀一、三好和幸、守谷健弘、山下誠志、若月恵子、武田恭明、中条良則

昭五〇朝原周一、穴吹善範、池田育嗣、池田朋子、井上康、今滝知子、今別府恵子、大内典子、大角京子、大西葉子、大林直嗣、岡崎功、岡山栄作、奥村康夫、垣見知英、河辺亮、神邊節子、岸本直子、桑田敬子、河野美智子、小嶋唯司、近藤延子、佐藤暢、柴田節、修理伸一、菅原香代子、鈴木聡、隅田啓、武田伸二、辻上寛美、徳広信也、豊澤佳弘、名尾和広、長井啓介、永留三恵子、萩本豊、萩本佳美、萩森康史、橋本香代子、蓮井宏樹、花房長広、浜崎泰子、日吉孝夫、平井一也、藤田次郎、淵崎正弘、逸見美千代、松本俊一、見市昇、港義弘、南楚希代子、三好智次、元山賢治、矢野充範、山村雅彦、山本徳洋、和田孝子、住谷眞、中条博子、板東靖人

昭五一秋元一成、池本益規、伊藤武久、右川誠一郎、大西ゆかり、大林實温、岡悦子、川原史、木内文子、菊池和也、木下雅文、串田佳広、楠瀬昌作、桑嶋正寛、後藤緑、小西裕美子、坂田貴之、櫻又浩、佐藤淳久、杉山洋子、高崎真治、高橋洋子、滝川稔、田窪克久、武内一、田中佳利、谷川修一、富田弘明、中村正則、西岡牧子、桢中玲子、平尾直子、平野郁子、福家みどり、福江昌子、福田陽一、細谷芳久、三澤浩司、水本典子、溝渕祥民、三野植男、宮崎真一、宮崎恵子、宮地岳彦、森和代、山口朝美、山田徹、山本博司、横井浩司、利藤房男、岡見吉規

昭五二阿川昌仁、天野盛資、綾田智子、石川高英、市木

研、伊藤尚、井上耕一、岩井孝子、植松健、大島由加子、大塚康正、大野直子、大林博子、大森明子、岡秀樹、岡博史、岡史朗、小瀬木滋、亀山洋子、神崎俊、合地仁美、佐瀬龍次郎、佐藤麻由美、塩田昭弘、新孝明子、千野みゆき、高木佳美、高橋伸治、高橋由美、竹内明美、武田方利、多田貴美子、辻上敬子、富田久美子、永峰伸一、西山淳一、野中真理、濱川喜田、林美千代、林充代、原内大作、藤澤一郎、北條ひとみ、米谷隆雄、松田欣未子、眞鍋裕司、三木武司、溝内正康、三谷泰司、宮武礼子、宮脇誠、森孝司、森康代、山田光一、横山一郎、吉田悟和、田晃尚、木村吉宏、五嶋孝博、多田羅衛一、山本修平、丸吉洋子

昭五三青木英晃、石原玲子、泉川かほる、臼井由美、梅津裕美、大林公一、葛西慎二、河合哲夫、北山明彦、木村庸子、清谷守之、佐々木一乗、佐藤良一、鈴木佳代子、住山喜昭、十河裕之、十河千穂、田岡英明、高島寛之、高橋英二、竹内啓子、多田野有司、土居邦弘、徳田桂一、中井達郎、灘波博司、沼原利彦、馬場正子、広瀬友彦、藤本邦人、藤本幹子、麓泰紀、増田俊也、松野和彦、松原幸子、宮崎俊也、宮下裕志、森明史、森泰藏、山口弘信、横山徹、吉川正美、池田義、関元直登

昭五四青柳佳枝、浅蔭勇男、穴吹久仁、石井浩之、石谷誠、今井万里子、植松紀子、大倉朗人、大出茂晴、大西宏明、大原昌樹、小椋由美、押野雅史、亀井智子、木村重之、熊澤毅彦、組橋和浩、佐々木浩之、佐々木悟、佐藤哲也、島津昌代、庄村敦子、助吉建彦、砂山豊宏、関谷利裕、多賀朱美、高岸浩子、高崎智子、高橋道也、高橋佐知子、多田栄三、多田野友美、鐵理代、豊澤徳子、長尾正樹、中西良典、馬場哲也、藤澤明彦、藤澤佳子、藤澤伸子、豊後雅巳、細井恵美子、榎野浩司、松延健一の場陽子、眞鍋英男、三日月加奈、水澤聖子、宮本浩美、森下佳子、山口裕視、山本一郎、吉川玄逸、吉本睦、R U T Z 美香、渡辺稔、平尾宏

昭五五安宅比呂美、池田康彦、石濱英暢、永正千里、亀井正好、亀井可奈子、川田健、木村りさ、楠瀬丈生、桑島洋子、香西新五、香西卓、小柳和代、柴田周、杉ノ内謙三、砂山博子、高崎恭子、太山尊弘、出口一志、中尾都、中西徳彦、長町顕弘、西岡孝、能祖一裕、野間玲子、橋本三起子、秦敏博、廣瀬昌也、福家司、福家徹朗、藤本悦子、細川典宏、松岡洋二、松岡利佳、松木聡司、松野慎介、松原敬子、眞鍋千恵、萬好都美恵、三宅順子、山崎直樹、渡辺淳子

昭五六山賀次、池内久徳、石岡邦章、石丸伊知郎、植松浩美、内田雅仁、太田理、太田孝彰、岡谷史子、亀井

英俊、菊池智津、櫛橋朋彦、黒川実、小西英登、小早川龍司、櫻又直美、佐々木晶子、佐藤今日子、清水善明、高橋夕香里、田中裕、田辺育子、寺尾章、中谷誠治、西村仁治、蓮井靖信、藤田祐、藤本拓資、細井智代、三浦治、水本恵美子、三松司郎、三宅伸吾、山本麻有里、吉鷹秀範、渡邊浩一郎、渡邊智子、山下敏子

昭五七石濱琢史、石濱美子、井本康裕、岩井孝之、大西久宣、岡内眞一郎、門脇禎人、喜田智幸、河野哲哉、国土真也、小島謙治、佐藤いずみ、新川洋司、武田悦子、多田幹明、出口理恵、土居享司、豊田英二、永峰清美、南里正治、西村直子、羽野精一、馬場博史、治多伸介、松原真治、松本寿、松本泰則、溝内ゆかり、六車直樹、山崎裕子、横田和伸、吉井敏浩、英巨

昭五八荒川裕佳子、大西弘倫、小野山千津、加藤宏一郎、川井裕基、河西邦浩、小竹京子、後藤泰宏、佐藤美里、佐藤久美子、佐藤扶美子、菅真美、十河昭宏、田井茂、高木盛子、多田俊昭、谷崎孝、樽谷美香、仲西志保、西野友年、乃村公二、町田聡、三沢篤志、溝内哲也、三橋理恵子、三野靖、森真理、守谷牧子、八木裕史、山本幸則、山本雅子、吉岡義人

昭五九天野江美、池田誠、池田知子、稲毛幸一、井本健夫、植松繁、大西委子、北堀礼子、白石哲也、高橋祥子、蓮井利美、平尾幹子、前田八州彦、村山彰二、山本真裕美、横田由香、吉野聡宏、大見昌弘

昭六〇石河利広、石田英城、大西研至、大西亨、大林弘明、尾崎努、梶尾裕子、加藤琢二、川上由佳、北内道代、業天恵美子、近藤恵美、才市史香、佐藤美智子、滝口信、多田義孝、西穀、西尾徹、沼原紀子、蓮井博子、平澤元浩、細川典子、増井都乃、森総子、山田晶一、山田英之、吉田年秀、吉田稔、倉掛峯子

昭六三阿部博、安藤昌彦、飯尾美保、石原美保、入谷誠、岩崎和子、植村崇晴、梅岡達生、小栗直子、川端桂子、木下晶、木村哲彦、葛原真由美、近藤健二、新藤正明、十河誠治、田井穰二、高木早智子、宝田繁基、竹川由美子、玉木雄一、佃英樹、中川孝、中村悦子、蓮井美奈子、羽田野麻理、林和英、久枝了、別宮欣暢、増田晋一、松原寛、三崎恵奈、宮脇幸子、村川哲也、八代田英樹、山下久美、山本岐香

平 元安部慶吾、伊沢栄子、石丸真弓、井上雅子、井町仁美、入谷知世、大西真見、折目貴司、日下栄也、小岩利昭、児玉奈津恵、佐々木雅張、鈴木順子、高橋陽一、谷明世、鳥養智子、中尾弘子、中西充、濱崎直哉、早川知子、福田琴、眞鍋未希、森本剛、和田啓生

平 二綾田和晶、石原加奈子、入谷浩之、小川淳也、小川明子、尾崎敬介、落合由香、加藤力也、河合雄太、川人香織、桐林孝明、楠本衣代、十河利樹、千切谷耕一郎、中瀬浩一、中村聡明、中山博之、藤尾陽子、古竹美奈、増井貴人、溝淵正和、宮下武恵、茂中芳佳、谷田部秀男、山根由依子、山本史郎、渡邊淑子

平 三伊賀彰子、伊藤香、井上靖志、上枝正幸、上原直人、右近有花、岡本佐織、小川孝子、乙井実香、香川英俊、片山哲也、河田悦夫、菊島将臣、木村彰宏、佐藤公一、田中誠也、田中育太、田中茂登、筒井雅彦、常谷典生、豊島彰、中田健次、福家良和、増田浩城、三木真由美、三島史子、宮脇修三、村上太、村川佑介、安田敏男、山下雅洋、山下亮、渡邊克充、田中和昇

平 四岩戸真紀、大森安代、鎌田浩志、北泉秀樹、香西育代、小嶋桂、小宮由利江、岡子浩基、谷本美香、東野伸也、中野志保、名塚太二、幡鈴千景、藤田晋、二神雅史、松井久知、三笠善寛、村川和也、柳礼恵、山地貴子、山添佳恵、芳重香奈

かね、林和彦、藤井泰宏、藤田妃佐子、藤本圭司、松岡俊郎、溝内健太郎、溝淵和則、向井麻央、森西崇、吉本晴樹、淀妙子、渡邊智子、市原武

平八朝倉理映、井関龍太、鶴澤亮、大橋邦啓、岡野剛主、小川竜司、五ノ坪佑輔、近藤巨匡、篠田陽子、神内圭吾、高田佑基、徳山宏美、中井隆文、中平淳子、中山信博、原田智子、藤原慶一、逸見亮平、細谷美佳、松本直樹、真鍋敬、八十川明子、シ周永子、尾崎元彦、香西悦子、十河誠、濱元ムツ子、細谷桂子

平九太田裕人、大森裕子、川畑里佳、川東芳文、久保田貴文、迫田達也、下地正恵、長谷部文子、宮本拡嗣

平一〇安藤真之、井川靖夫、石田恭子、大井健史、岡井有美、鎌田長明、國見卓人、久米一水、厚井久弥、小藤智史、小山賢太郎、篠原綾、高橋聡、戸阪匡博、豊富文、中井暢子、中塚健太郎、濱川昌延、東谷亜衣、堀川昌宏、真鍋量、向井大輔、塩田浩子

平一一大美智敬、小笠原恵、久保太郎、厚井志郎、櫻又英尊、佐藤崇裕、長町篤、森岡真梨、安田哲、西山忠克

平一二池上勝哉、糸瀬ふみ、井上雅世、大澤健二郎、太田貴也、川口泰代、駒井健二郎、榎藤宏美、佐藤碧、田尾誠、谷岡弘邦、中川さや子、長谷川博紀、福井裕介、松本聖香、松本文武、森田浩之、八十川豊、山本真理子、武田芳美

平一三石原ゆかり、印藤直彦、岸下定弘、児山浩崇、小山人花南江、笹島幹広、大黒翔太、永井美智子、日詰まいこ、福田香代子、三木雅登、宮城麻友、向井健二郎、室園恭規、八尾祉顕、淀谷光子、秋山宗徳、上田昇

平一四池内陽一朗、伊藤謹民、漆原慎司、江崎秀人、大熊裕貴、岡田卓巳、榎藤智之、佐々木崇徳、神野敬祐、高橋彩子、高濱隆幸、中山且、蓮井誠、藤澤純平、宮本詩子、森正憲、有原増美

平一五明石瑛美子、朝日俊雅、大林由佳、木村慧、厚井依子、佐伯太郎、多田彩乃、田村勇典、富田諒太郎、林友甫、原田芳宏、樋口篤、松家絵美、森田康之、横谷慶子、吉岡陽子

平一六赤澤和之、石田有美、岩本康平、葛西優、木村友香、塩谷奈央子、高橋航大、辻直輝、富田昌平、中辻早希子、藤田洋志、松岡正之、山ノ井基広、津川沙織、坂東真、平井アヤ子

平一七大下俊樹、大林真弓、芋坂佳、尾島三千代、桂嘉宏、木村圭一、佐藤功治、佐藤雅之、柴田郁、長谷川博之、福井雅一、堀川知紀、松尾祐太、松岡加奈子、真鍋多恵、宮本崇平、村尾圭介、和田圭伊子、池内一治

平一八伊賀万希子、入谷優、川口桂代、川田恵美、楠瀬

達也、久保友次郎、久保圭一、小林俊博、笹島正豊、白井雄喜、関満晃、田窪朋広、多田敦雄、田中均樹、富田洋輔、富山暢仁、中山由美、西山由理花、前田詠理、三日月佑梨、溝淵泰隆、宮崎沙月、山田佳奈

平一九井阪雅仁、井上宏亮、植松慎一郎、大林永実、岡本裕子、絹笠沙耶香、黒岡直子、中条匡臣、土岐芳寛、永峰優一、蓮井あゆみ、馬場翔太郎、原田康平、藤澤範子、藤澤友輝、藤本達也、前田雅美、横塚英治、松本美都、矢野翔也、山内彬子、渡邊大祐

平二〇朝倉健太、芋坂枝織、川原一晃、香西真道、佐藤万里奈、佐藤悠奈、関元由紀、鷹尾征哉、田川良和、多田野有里絵、谷美里、平野裕太郎、横井奈央、和田学政、尾崎友合子

平二一青木咲貴、青木仁美、安岐智晴、池西大起、植松建太、大林昌平、門田浩史、久詰修平、田岡伸崇、多田晋、土岐有美子、中川裕貴、中村清太郎、馬場真理子、真鍋美里、溝淵加奈枝、三原健太郎、宮本瑠子、村川晴香、横田康平

平二二青木建樹、石丸晶子、小原和花、鎌倉瑞基、亀井千晶、川口祐貴子、木村智美、小早川博美、櫻又由伽子、佐藤哲人、塩入愛美、品川遼太、末澤志乃、多田野絵璃、谷勇輝、戸嶋圭、八村良祐、平野旺周、廣瀬友基、藤沢眞代、藤澤智子、藤本卓也、増島祥、宮崎翔平、森光太朗、山田美由紀、山田佳明、横井茉莉、横山康平、吉原佳、池添治、松川万須美

平二三植田貴久、大出小夜子、大原壮一、大森真理、岡内啓悟、岡田直之、尾端樹、甲康平、北山真夕子、楠瀬智己、窪田かすみ、香西健太郎、新九研登、高橋寛、多田有輝子、乃村勇輝、長谷川力、堀川恭佑、港孔太、矢野雄也、山野上舞、山本華以、渡邊修也、渡邊二朗

平二四浅蔭鞠枝、淺田祐実、伊賀健人、石丸桜子、石丸千晶、岩間弓奈、岡奈々恵、河田祐太郎、川人一真、佐伯茉奈美、齊藤恭宏、佐藤夏実、佐藤うらら、塩井祥子、末澤佑樹、関侑華、高橋明音、辻曉里、出水遼太郎、坂東秀人、藤本みち、細谷泰祐、松尾千尋、松岡良恵、山下和貴、和田彩花

平二五青木耀大、六吹隆人、石濱佐和子、岡田あずさ、鎌野まどか、桑城亜裕子、小出英南子、品川真穂、白川雅章、高原雄太、谷村一成、濱中智史、平野晴、廣瀬元基、古市愛、前田喬広、森田夏帆、森本裕美子、保田祐輝、山野上実希、横井美実

平二六安藤さおり、石丸弘之、宇佐見天慧、初慶太、岡祐一朗、亀井裕平、川田拓弥、喜田壮士郎、北山由紀乃、河野雅子、佐藤希帆、神野さやか、出水佑二郎、徳武直、

馬場敦也、坂東拓人、増井佑莉、松本咲、三日月咲紀、三原大典、美馬章宏、三宅通

平二七浅田結生華、池田彬人、大谷勇樹、大出洗起、亀井皓平、佐藤聡太、品川香穂、谷和樹、中條尚哉、富田礼央奈、原田智行、板東里佳、藤澤昂太、藤田真由、三宅和岳、森優美香、山本麻由、吉田真優、藤澤良太、吉野千秋

平二八池田奈々子、石濱加彌子、石丸友里、植松希望、太卷侑香、朝真澄、大谷萌絵、大西智、岡崎律道、奥田喬一、尾端輔、勝部柚香、川瀬季広、久保一毅、隈川颯、河野詢平、坂本亮、杉原あかり、彈正原昌也、遠山英明、中西凌河、新岡沙莉、仁木友也、梁本太地、福井雅也、藤原拓未、間島永利、松田悠暉、溝口弘也、三井敦弘、森井嘉穂、森本健太、山崎満里加、山中章弘、山中陵弘、吉峰広貴、渡邊蘭

平二九麻田恭大、安藤桃子、飯千尋、石丸真子、植田将暉、大平采也加、葛西大淨、川西祐毅、喜田よつ葉、北川侑樹、木下純一、葛原寛子、久米瑞樹、小塚愛理、小山拓朗、小山結子、佐藤健斗、佐藤光起、苑田千央、多田真理子、田中紗弥加、出口和希、西岡佑真、野田敬統、乃村夏愛、馬場千寛、林莉穂、三宅沙弥、宮崎朋子、茂中航、柳澤智心、山下佳乃、山下峻、山本黎、横井涼亮、吉田夏穂、渡辺由洋

平三〇浅田歩美、浅原悠希、芦田一真、石川凌大、岩出大輔、大内一慶、大内隆誠、大西泰生、岡内紀翔、岡本健史、菊井拓斗、隈川怜、河野一紀、四宮啓公、白鳥飛雄馬、高木直哉、瀧川圭太、竹内まり子、玉木献人、太山賀珠人、十枝航太、中井理斗、仲西涼風、中西三春、中村仁、西竹柎紀、西宮和寛、平尾悠里子、増澤武弘、真鍋里菜、三澤一織、山崎裕里加、權日豊美、谷川有紀、牧井幸一

平三一青野光起、東果歩、伊澤利果子、石田公平、大内もも、大谷綾、大平知征、川田龍輔、佐藤綾香、眞光茉莉里、末光涼児、杉原ともし、砂崎慎之介、千切谷将一朗、土田悠介、土居孝高、梨野勝己、蓮井祐樹、平田一聖、堀場千裕、前谷颯太、余島彩華、稲月新、河合明光

令二二青木貴哉、安藤慶祐、板倉直輝、一村颯翼、井上さくら、植松明香、大西晴日、大西真生、岡田和貴、岡野未千佳、小川賢太郎、小川陽生、小原拓登、葛西礼実、門田光輝、金藤智由希、兼光佑輔、川端敦仁、川原由莉、菊井奏依、櫛田浩人、河野華子、坂田光毅、佐藤大洋、澤田杏華、田辺歩夢、谷本有夏、寺岡葵、十枝洋輔、西岡直紀、西神千尋、西口慧、西本真梨、二宮章、馬場光

里、濱龍正、濱口裕理伽、原田瑞穂、平山湧己、藤井香乃、藤澤りさ、細井心平、松岡太一、松澤巧貴、松下成美、松本透子、水野琳太郎、美馬由布子、六車明恵、安田穂香、藪内結海、山内琉雅、山口来楽、世俵駿、和唐将大、岩橋静公

令和元年度会費 追加納入者（令和二年五月一日以降入金）

旧職員 鏡原壽 晩翠 昭二〇（5）津乗操 高中 昭二四小松信幸 高橋 昭二六平井二郎 昭二七渡辺潤一 昭三一吉野文子、吉野正良 昭三三北浜章子、小西淳二 昭三五岡田雅子、笹岑紀美子、堀池光、渡辺剛 昭三六奥田雄一郎 昭三九真木徹志 昭四〇片山曉子 昭四一堀池典子 昭四三津村潤治、藤澤福子、矢野裕子、山本道子 昭四五伊勢明人、金藤倍、塩田耕三 昭五〇萩本豊、萩本佳美 昭五一松田和也 昭五二松田欣未子 昭五四真鍋英男 昭五八乃村公二 昭六一本多明雄 平六十八川武明 平七吉本晴樹 平一〇石田恭子 平一一松田祐佳 平一二山下泰啓 平二三高橋寛、乃村勇輝、渡邊修也 平二五鎌野まどか 平二六佐藤希帆 平二九乃村夏愛 平三〇岩出大輔

事務局からのお知らせ

毎年の会費納入ありがとうございます

半年に一度の報告として（10月初旬と1月初旬）、会費納入者一覧をホームページに掲載しています。ご自身で当年度の会費を納入されたかどうかをご確認することができます。ホームページトップ画面右下の、「会報ダウンロード」バナーよりお入りください。

【今年度のパスワードは 8063 です】

また、会員名簿については、H25年の発行を最後に（個人情報の保護を重視し）今後は発行しません。学年での同窓会の案内など住所の打ち出し等が必要な場合は、内規により該当卒年の代議員全員の連名の申請（要署名捺印）を頂けましたら、非電子データ（宛名シールなど）にてお渡しします。

詳しくは代議員様より事務局にお問合せください。

玉翠会費の納入方法は以下の5種類

同窓会活動を支える財源は、その殆どが卒業生より納めていただいている会費で運営されています。

近年の少子化による生徒数の減少で同窓会の財源も厳しい状況におかれています。会報発行や在校生への奨学金制度・教育活動補助など玉翠会運営維持のため、是非多くの方々に玉翠会費納入のご協力をお願いします。

1. 預金口座から自動振替

次頁をご参照ください。

2. 郵便局からお振込

同封、もしくは郵便局の払込用紙にてお振込できます。

3. コンビニ（またはスマホ決済）からお振込

会報を郵送でお受け取りの方のみ同封の振込用紙にてご利用できます。

4. クレジットカード決済（PayPal）にてお支払い

玉翠会のホームページをご参照ください。

5. その他金融口座からお振込

ゆうちょダイレクトの電信振替でゆうちょ銀行口座へ送金、また他の金融機関からも下記の口座へお振込が行えます。振込手数料は各自ご負担願います。

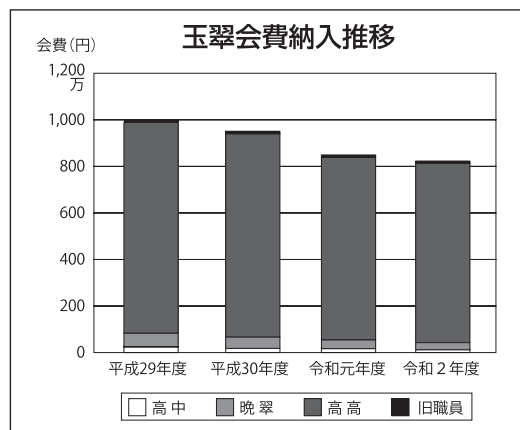
入金処理の際は、必ず6桁の会員番号を振込人氏名の前に打電してください。納入者を特定出来ない場合は「納入者不明」としてご入金させていただきます。

例) 123456タカマツタロウ

口座名義：香川県立高松高等学校玉翠会

口座番号：ゆうちょ銀行 一六九（イチロクキユウ）店（169）当座 0031115

百十四銀行 本店 普通 0078326



詳しくはこちら： 玉翠会ホームページ「年会費納入のお願い」

<https://gyokusui.org/kaihi>



会費のお支払いに 口座自動振替がご利用できるようになりました

玉翠会員の皆様の指定預金口座から、毎年自動で会費がお振替出来るようになりました。
窓口やコンビニに出向くことなく、また、お振込忘れも防ぐことができます。

振替日 **9月27日（銀行等、金融機関休業日の場合は翌営業日）**

《《 お申込みまでの流れ 》》

STEP 1 「預金口座振替依頼書」を玉翠会ホームページからダウンロードし印刷します。
↓
白黒でもカラーでも構いません。
また、玉翠会事務局にご連絡いただければご送付させていただきます。

STEP 2 黒のボールペンで、太枠内をもれなくご記入、ご捺印します。
↓

STEP 3 「預金口座振替依頼書」を高松高等学校玉翠会事務局までご送付ください。
【あて先】 〒760-0017
香川県高松市番町三丁目 1 番 1 号
香川県立高松高等学校玉翠会事務局 宛

【ご記入にあたっての注意事項】

1. 押印は金融機関届出印をお願いいたします。不鮮明の場合は再提出をお願いする場合がございますので、ご注意ください。
2. 預金者名はフリガナも必ずご記入ください。
3. お引落し額をご記入ください。（会費は一口2,000円からとなっております）
4. ご記入いただいた預金口座振替依頼書はコピーをとり、控えとしてご自身にて大切に保管ください。
5. ご登録完了のご連絡はございません。書類に不備がなければ、8月5日（事務局着）までにご依頼の方は当年度の会費より、それ以降にご依頼された方は次年度の会費より自動お振替開始になります。
6. 通帳摘要欄には、「ギョクスイカイヒ」と印字されます。なお、一部金融機関では「ワイドネット」（ゆうちょ銀行）または「ミツビシUFJファクター」と印字されます。